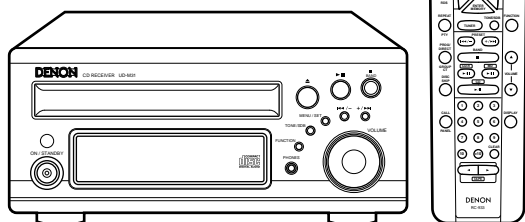
DENON

取扱説明書

UD-M31

CD RECEIVER

CDレシーバー

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

目　次

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

[絵表示の例]

△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警 告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

警告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告 つづき

■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

指を挟まれないように注意

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

注意 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意 つづき

■ 取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

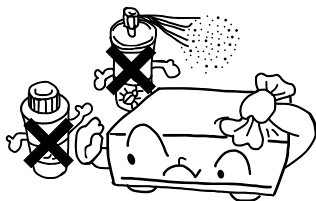
■ 結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが､1〜2時間で使用できるようになります。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

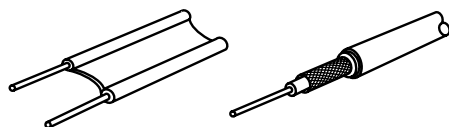
◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。

設置の際のご注意

■ 本機やマイクロコンピューターを搭載した電子機器をテレビと同時に使用する場合、テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合は次の点に注意してください。

◎本機をテレビからできるだけ離してください。

◎テレビのアンテナ線を電源コードおよび接続コード類から離して設置してください。

◎特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。

■ 放熱のため、本機の上に他のAV機器や置き物などを直接重ねないで10cm以上離して設置してください。

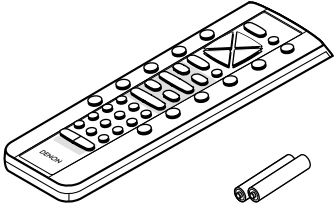
■ 他の機器と組み合わせて使用したとき、雑音（ハム音など）が発生する場合は、影響を及ぼさないよう離して設置してください。

使わないときは

■ ふだん使わないとき

◎電源を切ってください。
◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 移動させるとき

◎衝撃を与えないでください。

◎CDを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、他のオーディオ機器との接続コード類を取り外してから移動させてください。

3 本機の特長

1．音質重視のハイクオリティーアンプ

20W＋20W（EIAJ 6Ω）のハイクオリティーパワーアンプ回路を搭載。

2．トーンコントロールとSDBコントロール付き

お好みの音質が楽しめるBASS、TREBLE独立のトーンコントロールと、小音量でも迫力のある低音再生を実現することのできるスーパー・ダイナミック・バス回路（SDB）を搭載。SDBとトーンコントロールをOFFにして、フラットな特性にするソースダイレクトポジションを装備しています。

3．デジタルサウンドを楽しめるCDプレーヤー部

コンパクトなボディーにFM/AMチューナーとアンプに加え、CD-R/RWが再生可能なCD部を一体化しました。

4．便利なシステム機能を装備

D-M31シリーズのMDレコーダーまたはカセットデッキとシステム接続すると、オートファンクション、シンクロ録音、タイマー録音/再生などの操作が簡単にできるシステム機能を装備しています。

5．使いやすいリモートコントローラー付き

本機に付属のシステムリモコン（RC-933）で、本機とD-M31シリーズのMDレコーダーまたはカセットデッキの操作をおこなうことができます。（システム接続した場合に限ります。）

6．低待機電力

電源スタンバイ時の待機電力を約1Wに低減しました。D-M31シリーズの他の機器と組み合わせて使用する場合も、本機のACアウトレットを使用することにより、システム全体での待機電力増加を防ぐことができます。

4 付属品について

★本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

FM用屋内アンテナ　1本	AM用ループアンテナ　1個	リモコン（RC-933）　1個 単4乾電池　2本
取扱説明書（本書）　1冊	製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表　1枚	保証書 （梱包箱に貼り付けられています）

ご注意

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

5 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※ 当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

ステレオ音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

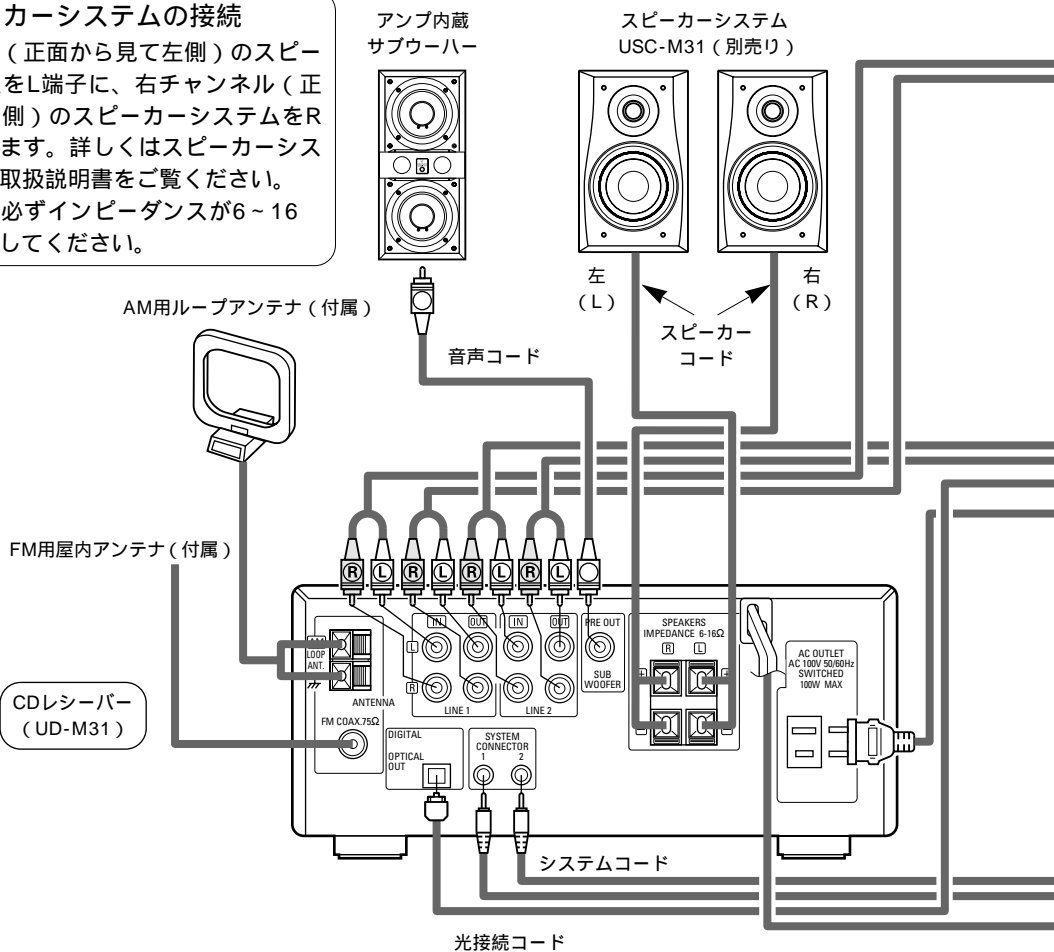
6 接続のしかた

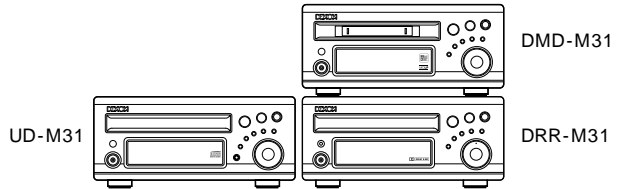
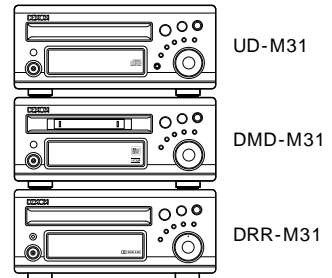
★別売りのMDレコーダー（DMD-M31）、カセットデッキ（DRR-M31）の操作のしかたは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
★本機と直接システム接続できる機器はMDレコーダー（DMD-M31）、カセットデッキ（DRR-M31）です。

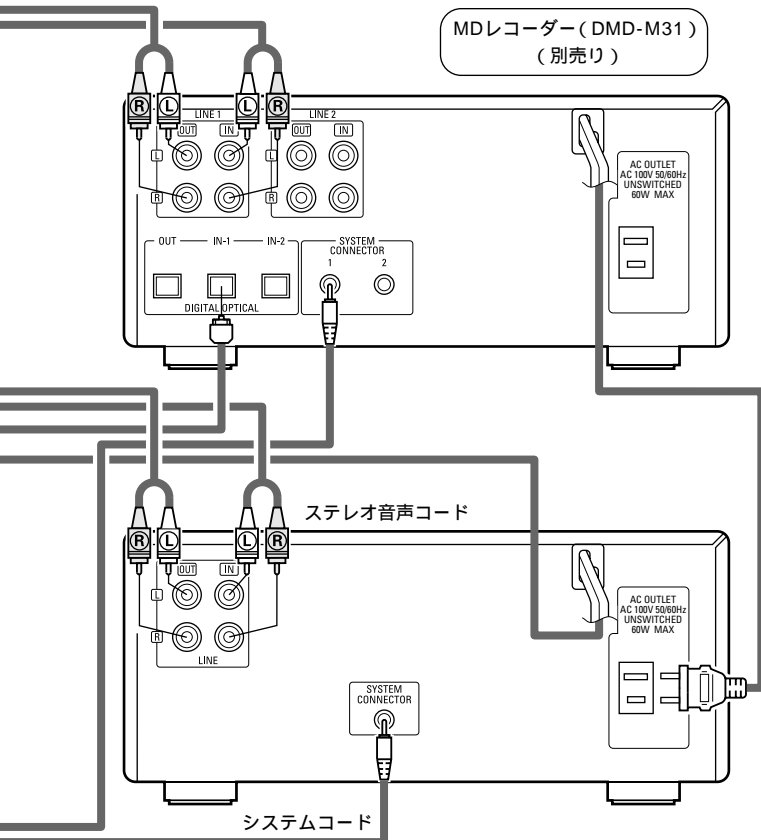
ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 本機のACアウトレットは、オーディオ機器専用です。ヘアードライヤーなど他の電気製品を接続しないでください。
- 本機に接続できる機器の合計消費電力は100Wまでです。それ以上の機器は接続しないでください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL（白）、RとR（赤）を接続してください。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な差し込みは雑音発生の原因になります。
- 接続コード類と電源コードを一緒に束ねたり、他の電気製品の近くに接続コード類を近づけたりすると、雑音の原因になることがあります。
- ファンクション切り替えボタン（FUNCTION）で選択されたファンクションの入力端子に機器を接続していない場合、他の入力端子に接続された機器の再生音が漏れることがあります。

スピーカーシステムの接続

- 左チャンネル（正面から見て左側）のスピーカーシステムをL端子に、右チャンネル（正面から見て右側）のスピーカーシステムをR端子に接続します。詳しくはスピーカーシステムに付属の取扱説明書をご覧ください。
- スピーカーは必ずインピーダンスが6～16Ωのものを使用してください。

システム接続について

- 本機とシステム接続してシステム動作をおこなえるMDレコーダーおよびカセットデッキはそれぞれ1台です。MDレコーダーやカセットデッキを2台システム接続すると、正常なシステム動作がおこなわれません。
- 各機器間のすべてのステレオ音声コードとシステムコードを接続しないと、タイマー機能やオートパワーオン機能などのシステム動作がおこなわれません。各機器間のすべての接続コードは確実に接続してください。
- 動作中にシステムコードなどを抜くと誤動作の原因になりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で接続の変更をおこなってください。

接続のしかた（つづき）

★CDレコーダーなどを接続する場合は、下図のように接続してください。
　その場合、入出力端子のセットアップをしてください。（27、28ページ参照）

接続のしかた（つづき）

スピーカーシステムの接続

■ スピーカーのインピーダンスについて

- インピーダンスが6～16Ωのスピーカーを使用してください。
- 上記のインピーダンス以外のスピーカーを使用した場合に、保護回路が動作することがあります。

◎スピーカー端子とスピーカーシステムは、必ず同じ極性(⊕と⊕、⊖と⊖)をつないでください。

◎接続の際、スピーカーコードの芯線が端子からはみだして他の端子に接触しないようにしてください。またスピーカーコードの芯線どうし、および芯線がリアパネルに接触しないようにご注意ください。

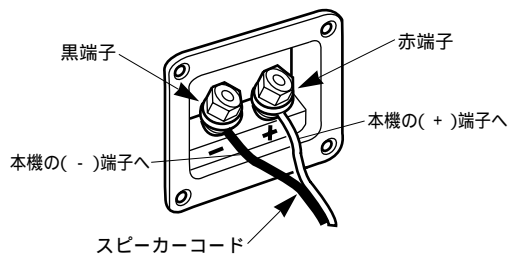
保護回路について

UD-M31には高速プロテクター回路が内蔵されています。
この回路は、本機のパワーアンプ出力に直流電圧が発生したとき、スピーカー出力を自動的に遮断し、スピーカーを保護するためのものです。保護回路が動作するとディスプレイに“ PROTECT ”が表示されます。このような場合は、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き取り、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご連絡ください。

■ スピーカーコードの接続

本機のスピーカー端子とコードのつなぎかた

① コードの端の被覆をむきます。
② 芯線をよじります。
③ ロックを外します。
④ スピーカーコードを挿入します。
⑤ ロックを元に戻します。

スピーカーとコードのつなぎかた（USC-M31の例）
[赤端子が（＋）、黒端子が（－）です]
スピーカー端子のねじをゆるめてコードの芯線を差し込み、ねじを締めます。

接続のしかた（つづき）

アンテナの接続

■ 付属のアンテナの接続

1	**FM用屋内アンテナをFMアンテナ端子（FM COAX.75Ω）に接続します。**
2	**組み立てたAM用ループアンテナをAMアンテナ端子（AM LOOP ANT.）とアース端子（⏚）に接続します。**

■ FM用屋内アンテナの設置方法

FM放送を受信（29ページ参照）し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープなどで、壁やラックなどに固定してください。

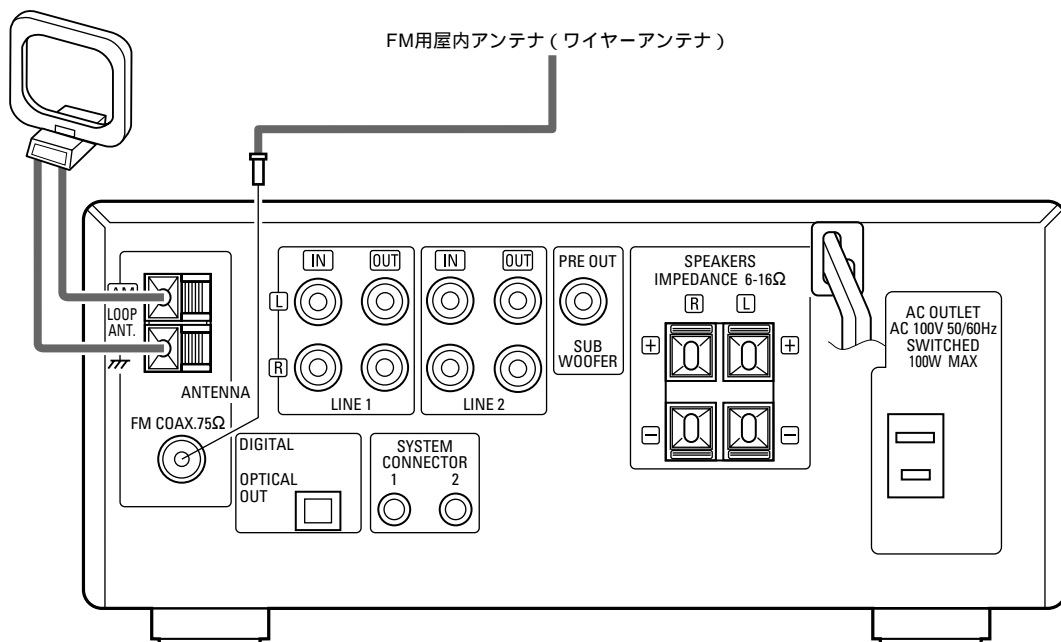
■ AM用ループアンテナの接続

付属のAM用ループアンテナを下図のようにアンテナ端子に接続してください。

1	**ロックを押して外します。**
2	**アンテナ線を端子部に挿入します。**
3	**ロックを持ち上げて固定します。**

■ AM用ループアンテナの設置方法

AM放送を受信（29ページ参照）し、音を聞きながら本機からできるだけ離して歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。
接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。
AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続していても金属部分に接近しているとAM放送を良好に受信することができません。

AM用ループアンテナ
AM用ループアンテナをアンテナスタンド部に挿入して下図のように組み立ててください。

接続のしかた（つづき）

★付属のアンテナで放送がきれいに聞こえないときは、必要な放送用の屋外アンテナを使用してください。

■ 屋外アンテナを立てる場所について

- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなどでは、最も良く受信できるところに立てて方向を変えてください。
- 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところへ立ててください。
- 落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

ご注意

- ガス管に接続して大地アースをとるのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機のアース端子（⏚）はAM用ループアンテナのアースで安全アースではありません。
- FM用アンテナアダプターは、本機のアンテナ端子に合った市販のものを使用してください。
- 75Ω同軸ケーブルおよび300Ωフィーダー線のFMアンテナアダプターへの接続は、FMアンテナアダプターの取扱説明書に従ってください。

■ FM用屋外アンテナの接続

1 **FM用屋外アンテナを75Ω同軸ケーブルまたは300Ωフィーダー線で市販のFMアンテナアダプターを使用して接続します。**

2 **FMアンテナ端子（FM COAX.75Ω）に接続します。**
- 75Ω同軸ケーブルまたは300Ωフィーダー線どちらか1本だけを接続してください。
- 付属のFM用屋内アンテナは外してください。

■ AM用屋外アンテナの接続

1 **AM用屋外アンテナをAMアンテナ端子（AM）に接続します。**
- 付属のAM用ループアンテナは、必ず接続しておいてください。

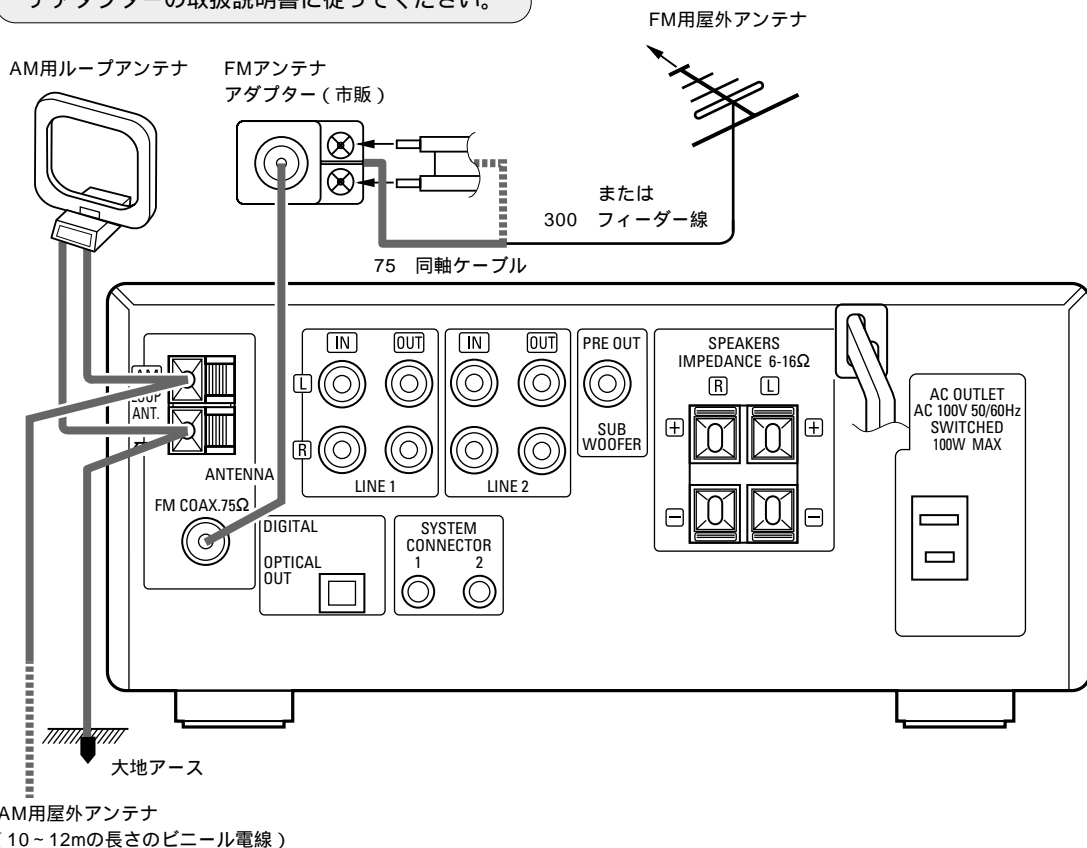
FM用屋外アンテナ

AM用ループアンテナ

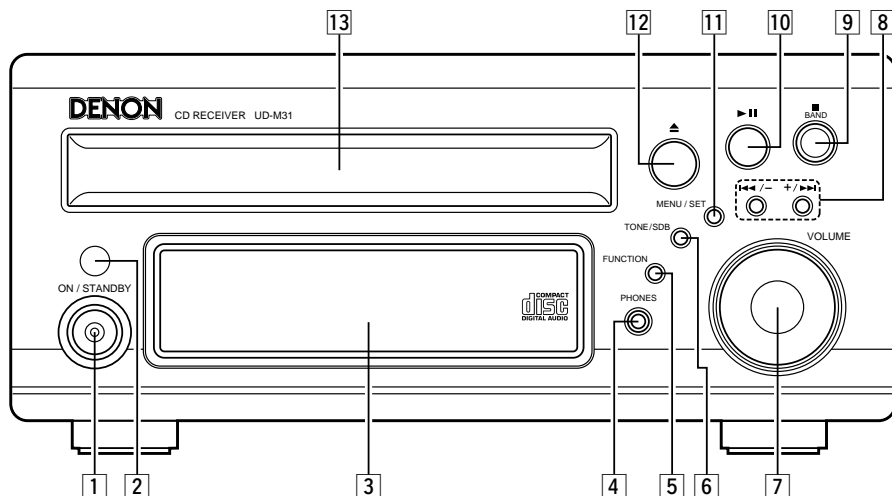
FMアンテナ
アダプター（市販）

または
300Ωフィーダー線

75Ω同軸ケーブル

大地アース

AM用屋外アンテナ
（10〜12mの長さのビニール電線）

7 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル

1 電源ボタン（ON/STANDBY）

- 押すと電源が入り、もう一度押すと電源がスタンバイ状態になります。
- システムコード接続時、システム全体の電源をON/スタンバイ（OFF）します。
- インジケーターの色は、状態によって次のように変わります。
  - ･電源ON時：緑色
  - ･スタンバイ時：赤色
  - ･タイマースタンバイ時：オレンジ色

2 リモコン受光部

- 付属のリモコン（RC-933）をこの受光部に向けて操作してください。

3 ディスプレイ

- 20ページを参照してください。

4 ヘッドホンジャック（PHONES）

- 市販のヘッドホンでお楽しみいただくときに使用します。
- ヘッドホンプラグを差し込むと、音声はヘッドホンからのみ聞こえ、スピーカーからの音声は聞こえなくなります。

5 ファンクション切り替えボタン（FUNCTION）

- 再生するファンクションを切り替えるときに押します。
- ボタンを押すたびに、ファンクションが次のように切り替わります。

→ CD → TUNER → (LINE1) → (LINE2) →

- 初期設定ではLINE1は『MD』、LINE2は『TAPE』になっています。本機では使用する機種により設定を変更することができます。（27ページ参照）

6 トーン/スーパーダイナミックバスボタン（TONE/SDB）

- トーンコントロール（BASS、TREBLE）やSDBで好みの音質を楽しむときに押します。
- ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。

→ SDB → BASS → TREBLE → S. DIRECT →

- SDB（スーパーダイナミックバス）はSDB ONまたはSDB OFF表示中に－,＋ボタンを使用してON/OFFを交互に切り替えることができます。
- BASS（低音）とTREBLE（高音）は、BASSまたはTREBLEレベル表示中に－,＋ボタンを使用して、お好みに合わせて増減レベルを調整することができます。
- S. DIRECT（ソースダイレクト）では、トーンとSDBをOFFにし、フラットな特性になります。
- 表示は、操作後約5秒で自動的に通常表示に戻ります。

7 音量調節つまみ（VOLUME）

- 音量を調節するときに使用します。
- ⟳方向に回すと音量が大きくなり、⟲方向に回すと音量が小さくなります。
- つまみを回すと、ディスプレイに“VOLUME 00”（最小）から“MAX”（最大）まで音量レベルが表示され、35ステップで音量が変化します。（電子コントロール式）

ご注意

電子コントロール式の音量調節のため、つまみの操作は音量レベルの表示を確認しながらゆっくりと回転させてください。

8 オートマチックサーチ/−, ＋ボタン（I◀◀/−, ＋/▶▶I）

- ファンクションがCDのとき、聞きたい曲の頭出しをするときに使用します。（オートマチックサーチボタン）（42ページ参照）
- ファンクションがTUNERのとき、FM/AM放送局を選局するときに使用します。（プリセット/チューニング −, ＋ボタン）（29ページ参照）
- トーン/SDBの調整・設定をおこなうときに使用します。
- 時刻やタイマー、セットアップの選択をするときに使用します。（26〜28、32〜38ページ参照）

9 ストップ/バンドボタン（■ BAND）

- CD再生時にCDを停止します。（ストップボタン）
- ファンクションがTUNERのときに、『FM』と『AM』を切り替えます。（バンドボタン）
- このボタンを押すたびに、次のように受信モードが変わります。（29ページ参照）

FM AUTO → FM MONO → AM

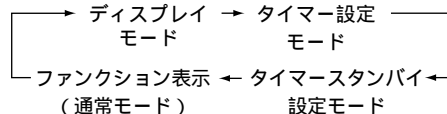
- ファンクションがTUNERのとき、−, ＋ボタンとの組み合わせで『チューニングモード』と『プリセットモード』を切り替えます。（29ページ参照）

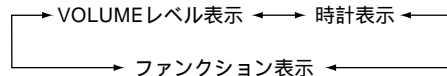
10 プレイ/ポーズボタン（▶/II）

- CDの再生をはじめるときに押します。
- CDを再生中にこのボタンを押すと、一時停止状態になります。一時停止中に押すと、再生をはじめます。
- ディスクホルダーが開いた状態のときに押すとディスクホルダーが閉じて再生をはじめます。
- スタンバイ状態のときに押すと、自動的に電源が入り、CDの再生をはじめます。（オートパワーオン機能）

11 メニュー/セットボタン（MENU/SET）

- 本機の様々な機能の確認や変更をすることができます。
- ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。

ディスプレイモード → タイマー設定モード → タイマースタンバイ設定モード → ファンクション表示（通常モード）

ディスプレイ（表示切り替え）モード：

- DISPLAY表示中に−, ＋ボタンで、次のように表示が切り替わります。

・VOLUMEレベル表示：
現在のボリウムレベルを表示します。
約5秒後、ファンクション表示に戻ります。

・時計表示：
現在時刻を表示します。時計表示をした後は、CD再生など別の操作をするまで本機の表示部は時計表示に固定されます。
時計表示中に時刻の設定ができます。（26ページ参照）

タイマー設定モード：

- TIMER表示中にプリセットボタン（−, ＋）を押すと、ワンスタイマー、エブリデイタイマーの設定モードに入ります。
- タイマーの設定ができます。（33〜36ページ参照）
- タイマーの内容を確認することができます。（38ページ参照）

タイマースタンバイ設定モード：

- 現在のタイマースタンバイ設定を表示し、表示中に－,＋ボタンでタイマー動作のON/OFFを設定することができます。（36ページ参照）
- 電源スタンバイ状態でメニュー/セットボタンを2秒以上押すと、セットアップモードになります。
  SETUP表示中にプリセットボタン（－, ＋）を押すたびに、次のように表示が切り替わります。

  → LINE1 FUNC ←→ LINE2 FUNC ←

  ・**LINE1 FUNC**：
  LINE1の入出力ファンクションを設定します。
  ・**LINE2 FUNC**：
  LINE2の入出力ファンクションを設定します。
  （27、28ページ参照）
- 電源スタンバイ状態で、メニュー/セットボタンを押すと時計表示になります。電源スタンバイのままディスプレイに時計表示がされますが、システム全体は低待機電力モードではなくなります。（本機のACアウトレットがONになり、システム全体が電源スタンバイ状態になります。）
  もう一度押すと時計表示が消えて、システム全体が低待機電力モードに戻ります。

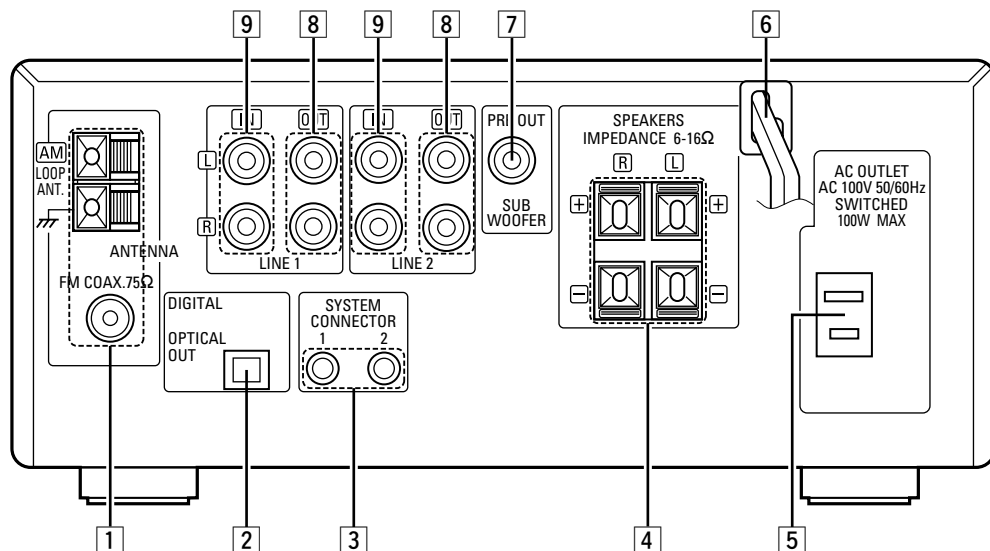
⑫ ディスクホルダー開閉ボタン（⏏）

- ディスクホルダーを開閉するときに押します。
- スタンバイ状態のときに押しても電源が入り、ディスクホルダーが開きます。

⑬ ディスクホルダー

- 開閉するときは、ディスクホルダー開閉ボタン（⏏）を押してください。

各部の名前とはたらき（つづき）

(2) リアパネル

1 アンテナ端子（ANTENNA）

- アンテナを接続します。（14、15ページ参照）

2 デジタル出力端子（DIGITAL OPTICAL OUT）

- ファンクションがCDのとき、CDのデジタル信号を光で出力します。MDレコーダー(別売り)のデジタル入力端子（OPTICAL IN）に接続します。（10、11ページ参照）

3 システム端子（SYSTEM CONNECTOR 1,2）

- D-M31シリーズのMDレコーダー（DMD-M31）またはカセットデッキ（DRR-M31）を組み合わせて使用するときに、これらの機器に付属のシステムコードで接続します。（10、11ページ参照）

4 スピーカー端子（SPEAKERS）

- スピーカーシステムを接続します。（13ページ参照）

5 ACアウトレット（AC OUTLET）

- D-M31シリーズの電源コードを接続します。（10、11ページ参照）

ご注意

- 本機に接続できる機器の合計消費電力は100Wまでです。それ以上の機器は接続しないでください。
- 本機のACアウトレットに接続された機器（DMD-M31、DRR-M31など）は、本機の電源ボタンと連動してON/スタンバイ（OFF）となりますが、本機をスタンバイ状態にしてからACアウトレットが切れるまでは数十秒かかります。

6 電源コード

- 常時通電されている壁の電源コンセントなどに差し込んでください。

7 プリアウト端子（PRE OUT）

- アンプ内蔵のサブウーハーなどの入力端子に接続します。

8 出力端子（OUT）

- 録音用の出力端子です。
  - **・LINE1：** 出荷状態では『MD』に設定されています。別売りのMDレコーダー（DMD-M31）の入力端子（IN）に接続します。
  - **・LINE2：** 出荷状態では『TAPE』に設定されています。別売りのカセットデッキ（DRR-M31）の入力端子（IN）に接続します。
- 本機では、購入機種に合わせて設定を変えることができます。設定変更の詳細は27、28ページをご覧ください。

9 入力端子（IN）

- **・LINE1：** 出荷状態では『MD』に設定されています。別売りのMDレコーダー（DMD-M31）の出力端子（OUT）に接続します。
- **・LINE2：** 出荷状態では『TAPE』に設定されています。別売りのカセットデッキ（DRR-M31）の出力端子（OUT）に接続します。
- 本機では、購入機種に合わせて設定を変えることができます。設定変更の詳細は27、28ページをご覧ください。

各部の名前とはたらき（つづき）

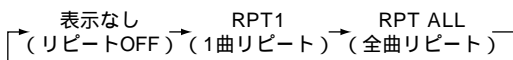
(3) ディスプレイ

1 各種モード表示部

- タイマー、チューナーの各種モードの状態を表示します。
  - ◷：タイマーがスタンバイ状態のときに点灯します。タイマーが未設定のときは点灯しません。
  - **P.SET**：チューナーのプリセット番号を表示するときに点灯します。
  - **TIMER**：タイマーが設定されているときに点灯します。タイマー設定時間の入力中にも点灯します。
  - **TIME**：時刻表示のときに点灯します。
  - **MEMO**：FM/AMの放送局をプリセットメモリーするときに点滅します。

2 各種モード表示部

- CDの各種モードの状態を表示します。
  - **▶**：再生中に点灯します。
  - **❚❚**：一時停止中に点灯します。
  - **RANDOM**：ランダム再生のときに点灯します。
  - **RPT**：リピートボタンを押すたびに、次のように点灯します。

表示なし（リピートOFF）→ RPT1（1曲リピート）→ RPT ALL（全曲リピート）

  - **PROG**：プログラム選曲およびプログラム再生のときに点灯します。
  - **EDIT**：カセットテープへのエディット操作時に点灯します。

3 各種モード表示部

- 各種モードの状態を表示します。
  - **●**：リモコン信号を受信したときに点灯します。
  - **SLEEP**：スリープタイマーの動作中に点灯します。

4 各種モード表示部

- 音質調整の各種モードの状態を表示します。
  - **SDB**：SDB（スーパーダイナミックバス）がONの状態のとき点灯します。
  - **TONE**：トーンコントロール（BASS, TREBLE）のレベル調整がされているとき、またはレベル調整を待機しているときに点灯します。

5 各種モード表示部

- チューナーの各種モードを表示します。
  - **TUNED**：FM/AM受信時正しく同調したときに点灯します。
  - **AUTO**：バンドボタン（■ BAND）でオートステレオモードにしたときに点灯します。
  - **ST**：オートステレオモードでステレオ放送を受信しているときに点灯します。
  - **MONO**：オートステレオモードでモノラル放送を受信しているとき、およびバンドボタン（■ BAND）でモノラルモードにしたときに点灯します。

6 メイン表示部

- 各種ファンクション、時計およびタイマーの設定時刻などが表示されます。
- ファンクションをCDに切り替えたときには以下の表示をします。

曲番表示部（TRACK）

CDがあるとき
- ·**停止状態**：CDに収録されている総曲数
- ·**再生およびプログラム再生状態**：再生中の曲番

時間表示部

CDがあるとき
- ·**停止状態**：CDに収録されている総時間
- ·**再生および一時停止状態**：再生中の曲の経過時間
- ·**エディット操作時**：カセットテープの時間

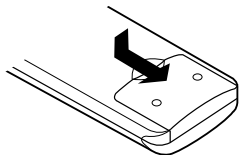
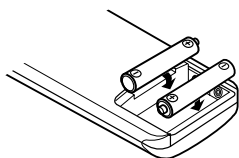
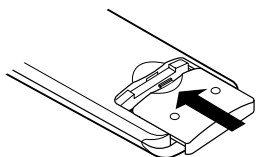
【例】60分テープの場合は“ C-60 ”が表示されます。

- 音量調節時には音量レベルを表示します。
音量調節つまみやリモコンのボリウムボタンの動きに合わせてVOLUME 00（最小）からMAX（最大）まで音量レベルを表示します。

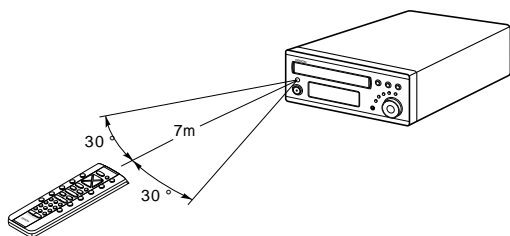
8 リモコンについて

★付属のリモコン（RC-933）は、本機専用のリモコンです。D-M31シリーズのMDレコーダー、カセットデッキをシステム接続しているときは、本機のファンクションに応じて、対応する各機器の操作をおこなうことができます。
★D-M31シリーズのMDレコーダーまたはカセットデッキ以外の機器を接続してもこのリモコンによる操作はできません。

（1）乾電池の入れかた

① リモコンのカバーを外してください。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③ カバーを元通りにしてください。

ご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくてもリモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに乾電池を交換してください。）
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 新しい乾電池と交換するときはリモコンに使用している乾電池を取り出し、約2分間経過してから新しい乾電池を入れてください。
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損、液漏れの恐れがありますので、
  ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

（2）リモコンの使いかた

- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- D-M31シリーズのMDレコーダー、カセットデッキを組み合わせて使用するときは、本機に向けて操作してください。
- 直線距離で約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコン受光部との間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。
- 本体とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

リモコンについて（つづき）

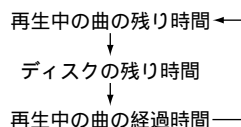
（3）リモコンボタンの名前とはたらき

★ 特に説明のないボタンは、本体と同じはたらきをします。（16〜18ページ参照）
★ 本機のファンクションによってリモコンボタンのはたらきが変わります。
- CDのとき下記CDファンクションのはたらきをします。
- TUNERのとき下記チューナーファンクションのはたらきをします。

チューナーボタン（TUNER）
ファンクションを『TUNER』にするときに押します。

チューナーファンクション
- **エディットボタン（EDIT）**
  ステーションネームを入力するときに押します。
- **チューニングボタン（TUNING ▲/▼）**
  FM/AM放送の受信周波数を合わせるときに押します。
- **メモリーボタン（MEMORY）**
  FM/AM放送局をプリセットメモリーするときに押します。
- **プリセットボタン（PRESET ▼/▲）**
  プリセットしたFM/AM放送局を呼び出すときに押します。
- **バンドボタン（BAND）**
  『FM』と『AM』を切り替えるときに押します。

CDファンクション
- **タイムボタン（TIME）**
  再生中または一時停止中に押すと時間表示が次のように切り替わります。

  再生中の曲の残り時間 → ディスクの残り時間 → 再生中の曲の経過時間 →（再生中の曲の残り時間へ戻る）

  （通常は再生中の曲の経過時間が表示されます。また、プログラム再生中はディスクの残り時間の代わりにプログラムされた曲の合計の残り時間が表示されます。）ディスクの残り時間表示のときは曲番表示が消えます。
- **エディットボタン（EDIT）**
  カセットテープの長さに合わせて編集録音をおこなうときに押します。（50ページ参照）
- **マニュアルサーチボタン（◀◀,▶▶）**
  再生を早戻し（◀◀）または早送り（▶▶）するときに押します。
- **オートマチックサーチボタン（I◀◀,▶▶I）**
- **ストップボタン（■）**
  CD再生時にCDを停止するときに押します。

CDファンクション
- **ランダムボタン（RANDOM）**
  ランダム再生をおこなうときに押します。（45ページ参照）
- **リピートボタン（REPEAT）**
  リピート再生をおこなうときに押します。（44ページ参照）
- **プログラム/ダイレクトボタン（PROG/DIRECT）**
  プログラム再生とダイレクト再生を切り替えるときに押します。（43ページ参照）
- **ディスクスキップボタン（DISC SKIP）**
  本機では使用しません。
- **コールボタン（CALL）**
  プログラムされた曲を確認するときに押します。（43ページ参照）

電源ボタン（SYSTEM POWER）

スリープボタン（SLEEP）
スリープタイマーを設定するときに押します。（39ページ参照）

ファンクションボタン（FUNCTION）

トーン/スーパーダイナミックバスボタン（TONE/SDB）

ボリウムボタン（VOLUME ▲/▼）
▲を押すと音量が上がり、▼を押すと音量が下がります。

CD プレイ/ポーズボタン（▶/❚❚）
CDの再生をはじめるとき、または一時停止するときに押します。

ディスプレイボタン（DISPLAY）
ボタンを押すたびに、次のように表示が切り替わります。

VOLUME → 時刻 → ファンクション →（VOLUMEへ戻る）

チューナーファンクション
- **テンキー（1〜10,+10）**
  プリセットしたFM/AM放送局をプリセット番号で呼び出すときに押します。
- **クリアーボタン（CLEAR）**
  ステーションネームを削除するときに押します。

CDファンクション
- **テンキー（1〜10,+10）**
  聞きたい曲番を選ぶときに押します。
- **クリアーボタン（CLEAR）**
  プログラムされた曲を取り消すときに押します。（43ページ参照）

リモコンについて（つづき）

★D-M31シリーズのMDレコーダー、カセットデッキをシステム接続しているときには、本機のファンクションによってリモコンボタンのはたらきが変わります。動作の詳細は各機器の取扱説明書をご覧ください。
- MDのとき下記MDファンクションのはたらきをします。
- TAPEのとき下記TAPEファンクションのはたらきをします。

TAPEファンクション

・**早送りボタン（▶▶）**
カセットテープを早送りするときに押します。
再生中に押すと、次の曲の頭出しができます。

・**巻き戻しボタン（◀◀）**
カセットテープを巻き戻すときに押します。
再生中に押すと、現在の曲の頭出しができます。

・**ストップボタン（■）**
再生または録音を停止するときに押します。

MDファンクション

・**ランダムボタン（RANDOM）**
ランダム再生をおこなうときに押します。

・**リピートボタン（REPEAT）**
リピート再生をおこなうときに押します。

・**プログラム/ダイレクトボタン（PROG/DIRECT/GROUP）**
プログラム再生とダイレクト再生、グループ再生を切り替えるときに押します。

・**コールボタン（CALL）**
プログラムされた曲を確認するときに押します。

MDファンクション

・**タイトル/キャラクターボタン（TITLE/CHARACTER）**
時間表示をタイトル表示に切り替えるときに押します（時間表示に戻す場合は、タイムボタン（TIME）を押してください。）また、タイトルを入力するときにこのボタンを押すと、英数字や特殊文字などの文字種類を切り替えることができます。

・**タイムボタン（TIME）**
再生中または一時停止中に押すと再生中の曲の残り時間やディスクの残り時間が確認できます。

・**エディットボタン（EDIT）**
ディスク名や曲名のタイトル入力など、各種編集操作をおこなうときに押します。

・**マニュアルサーチボタン（◀◀, ▶▶）**
再生を早戻し（◀◀）または早送り（▶▶）するときに押します。

・**エンターボタン（ENTER）**
編集操作を確定するときに押します。

・**オートマチックサーチボタン（I◀◀, ▶▶I）**
曲の頭出しをおこなうときなどに押します。

・**ストップボタン（■）**
再生または録音を停止するときに押します。

MD プレイ/ポーズボタン（▶/II）

MDレコーダーでの再生や録音をはじめるとき、または一時停止するときに押します。

MDファンクション

・**テンキー**
聞きたい曲番を選ぶときに押します。

・**クリアーボタン（CLEAR）**
プログラムされた曲を取り消すときに押します。

TAPE 正方向プレイボタン（▶）

カセットデッキの正方向の再生または録音をはじめるときに押します。

TAPE 逆方向プレイボタン（◀）

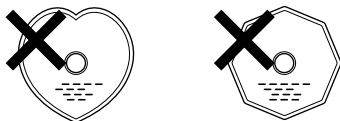
カセットデッキの逆方向の再生または録音をはじめるときに押します。

TITLE/CHARACTER TIME SYSTEM POWER EDIT RANDOM ◀◀ ▶▶ TUNING TUNING SLEEP RDS ENTER MEMORY REPEAT TONE/SDB FUNCTION TUNER PTY PRESET I◀◀/− +/▶▶I PROG/DIRECT BAND ■ GROUP CT CD-R MD DISC SKIP CD CALL 1 2 3 DISPLAY 4 5 6 PANEL 7 8 9 CLEAR 10 +10 TAPE DENON RC-933

9 CDの取り扱いとご注意

ディスクについて

本機で再生できるCDは、右のマークが付いているものです。

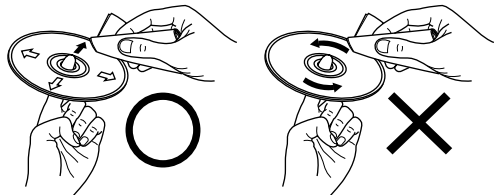
但し、ハート型や八角形など特殊形状のCDは演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

CDの持ちかた

CDを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。

CDのお手入れのしかた

■ CDに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。CDの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。

■ 拭き取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。　円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷側）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移動すると表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

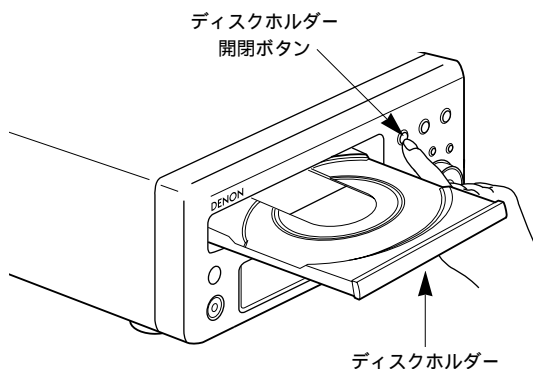
- 再生後は必ずCDを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気、ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

CDを装着する際のご注意

- CDは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着すると故障の原因になり、CDを傷つけることにもなります。
- 8cm CDは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせて装着してください。正しく装着されないとCDが脱落し、ディスクホルダーが開かなくなることがあります。
- ディスクホルダーが引き込まれるときに指を挟まないようにご注意ください。
- CD以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修したCDは使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因になることがあります。

10 ディスクホルダーの開閉とCDの入れかた

(1) ディスクホルダーの開閉

1	**ディスクホルダー開閉ボタンを押します。** ● ディスクホルダーが開きます。	 （本体）
2	**もう一度ディスクホルダー開閉ボタンを押します。** ● ディスクホルダーが閉じます。	 （本体）

ご注意

ボタンを鉛筆などで叩いたりしないでください。

(2) CDの入れかた

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクホルダーが完全に開いた状態でCDを載せてください。
- 12cm CDは外周ディスクガイドに合わせ、8cm CDは内周ディスクガイドに合わせて水平に載せてください。
- ディスクホルダー開閉ボタン（⏏）を押して、ディスクホルダーを閉じてください。
- ディスクホルダーが閉じるとCDの収録曲数および収録時間が表示されます。
- CDを装着してからプレイ/ポーズボタン（▶/❚❚）を押すと、ディスクホルダーが閉じて再生をはじめます。

ご注意

- 万一指などを挟んだ場合は、慌てずにディスクホルダー開閉ボタン（⏏）を押し、ディスクホルダーを開けてください。
- ディスクホルダーに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- ディスクホルダーを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

図1

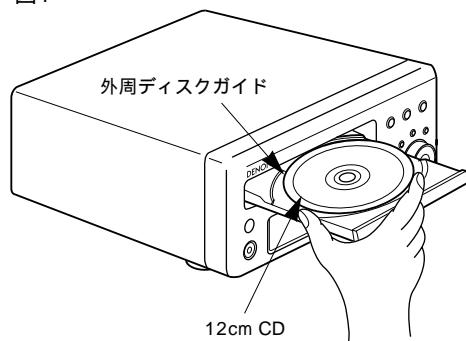
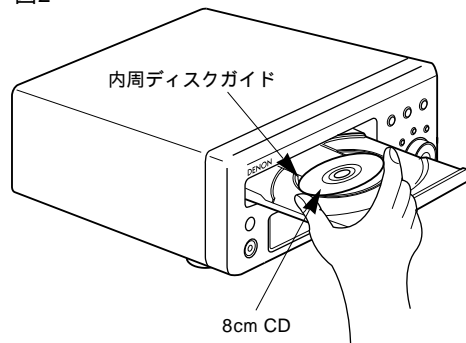



図2

11 セットアップのしかた

★セットアップをおこなうことにより、タイマーやシステム動作をおこなうことができるようになります。

（1）時刻の合わせかた（24時間表示）

【例】現在時刻を『19時30分（午後7時30分）』に合わせるとき

1 **電源を入れます。**

2 **メニュー/セットボタンを押して、“ DISPLAY ”を表示させます。**

3 **−，＋ボタンを押して、時刻表示にします。**

- 時刻設定がされていないときや停電があったときは、“ SET TIME ” が点滅します。約5秒後、時計表示が点滅します。
- 時刻設定済みの場合は現在時刻が点滅し、約5秒後に点灯に変わります。

4 **メニュー/セットボタンを2秒以上押します。**

- 時表示が点滅します。

5 **−，＋ボタンを押して、『時』を合わせます。**

6 **メニュー/セットボタンを押します。**

- 分表示が点滅します。

7 **−，＋ボタンを押して、『分』を合わせます。**

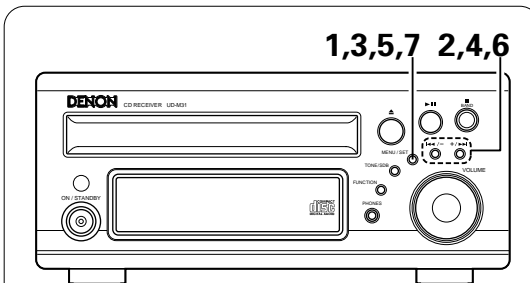
8 **時報などに合わせて、メニュー/セットボタンを押します。**

- 分の桁の“ 30 ”が点灯し、現在時刻を表示します。

※スタンバイ状態のときでも、メニュー/セットボタンを押し、時計表示にしてから操作***4***〜***8***をおこなうと、現在時刻を合わせることができます。

(2）入出力ファンクションの設定のしかた

★接続した機器と入出力ファンクションの設定が合っていない場合、システム動作は正常に働きません。
★出荷状態では、LINE1は『MD』に、LINE2は『TAPE』に設定されています。LINE1にMDレコーダーを、LINE2にカセットデッキを接続する場合には特に設定する必要はありません。
★UD-M31のセットアップを変更することでCDレコーダーなどを接続することができます。
その場合UD-M31とMDレコーダー(DMD-M31)の設定を『例：MDレコーダー（DMD-M31）をデジタルスルーモードに設定する場合』の通りに変更します（28ページ参照)。CDレコーダーなどは12ページのように接続します。
★このような設定をした場合、CDレコーダーなどの入出力信号は次のようにCDレシーバー（UD-M31）に接続されます（スルー回路)。

アナログ信号

- MDレコーダー（DMD-M31）がストップモードあるいはスタンバイモードの場合、CDレコーダーなどの入出力信号はMDレコーダー（DMD-M31）を素通りし、CDレシーバー（UD-M31）の入出力端子に接続されます。
- MDレコーダー（DMD-M31）がプレイモード、ポーズモードのとき、MDレコーダー（DMD-M31）の信号がCDレシーバー（UD-M31）に入力されます。

デジタル信号

- MDレコーダー（DMD-M31）の入力モードをデジタルスルーモード設定するとCDレシーバー（UD-M31）のデジタル出力信号はMD（レコーダー）を素通りしてCDレコーダーなどに入力されます。

【例】LINE1にMD/CD-Rを設定する場合

1 **スタンバイモードでメニュー/セットボタンを2秒以上押します。**

2 **ー, ＋ボタンを押して、“ LINE１ FUNC ” を表示させます。**

※ ー, ＋ボタンを押すたびに、表示が次のように切り替わります。

LINE1 FUNC ↔ LINE2 FUNC

3 **メニュー/セットボタンを押します。**

- 現在設定されているファンクションが表示されます。

4 **ー, ＋ボタンを押して『MD/CD-R』を選択します。**

※ ＋ボタンを押すたびに、表示が次のように切り替わります。

→ CD-R → MD → MD/CD-R → AUX →

（ーボタンでは逆に回ります。）

5 **メニュー/セットボタンを押します。**

- LINE2に設定されているファンクションが表示され、LINE2の設定に移ります。

（次のページに続きます。）

セットアップのしかた（つづき）

6 **－, ＋ボタンを押して『TAPE』を選択します。**

（本体）

※ －, ＋ボタンを押すたびに、表示が次のように切り替わります。

TAPE ←→ AUX

（LINE1でMD/CD-Rを選択したため、MDは表示されません。）

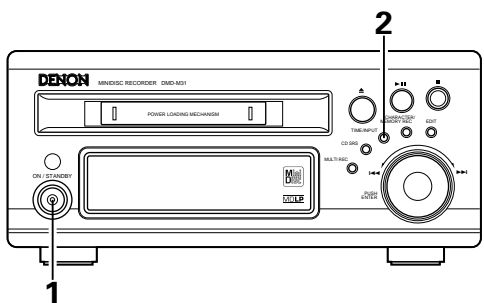
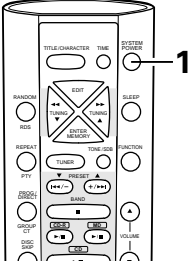
7 **メニュー/セットボタンを押します。**

- LINE2がTAPEに設定され、スタンバイモードに戻ります。

（本体）

※ 操作***2***で『LINE2 FUNC』を選択した場合には、LINE2だけの設定の変更をおこなうことができます。

ご注意

- スルー回路を使用中にMDレコーダー（DMD-M31）を録音モードにすると音声が途切れます。
- LINE1、LINE2は次のように設定できます。
  LINE1：MD、CD-R、MD/CD-R、AUXが選択できます。（MD/CD-RはMDレコーダー、カセットデッキ、CDレコーダーなどの3つの機器が接続されたときのみに設定します。）
  LINE2：TAPE、MD、AUXが設定できます。

★ LINE1またはLINE2にMDレコーダー（DMD-M31）やカセットデッキ（DRR-M31）以外の外部機器（ラインアンプ内蔵のアナログプレーヤーなど）を接続して使用する場合は、外部機器を接続する端子（LINE1またはLINE2）の入出力ファンクションを『AUX』に設定してください。

★ LINE1とLINE2に同時に同じファンクションを設定することはできません。
例えばLINE1にMDを設定するとLINE2に接続できる機器の選択からMDが自動的に除外されます。

★ LINE2ですでに設定されているファンクションを再設定のときにLINE1のファンクションとして選択した場合、LINE1の選択を優先し、LINE2は自動的に初期設定のの『TAPE』に戻ります。

【例】 MDレコーダー（DMD-M31）を
デジタルスルーモードに設定する場合

1 **電源を入れます。**

ON / STANDBY　SYSTEM POWER

（DMD-M31）（RC-933）

2 **ストップモードのとき、タイム/インプットボタンを2秒以上押して入力切換えモードにします。**

TIME/INPUT

（DMD-M31）

タイム/インプットボタンを何回か押して、“ Opt-1:THROUGH ” を選択します。

- “ OPT ” 表示が点灯します。

12 ラジオ放送の聞きかた

(1) 選局のしかた

★ 本機はFMワイドバンド仕様で、通常のFM放送のほか、テレビ1〜3チャンネルの音声（モノラル）の受信ができます。

1 **電源を入れ、ファンクションを『TUNER』にします。**

- ディスプレイが受信周波数表示に切り替わります。

（本体）　（リモコン）　（本体）　（リモコン）

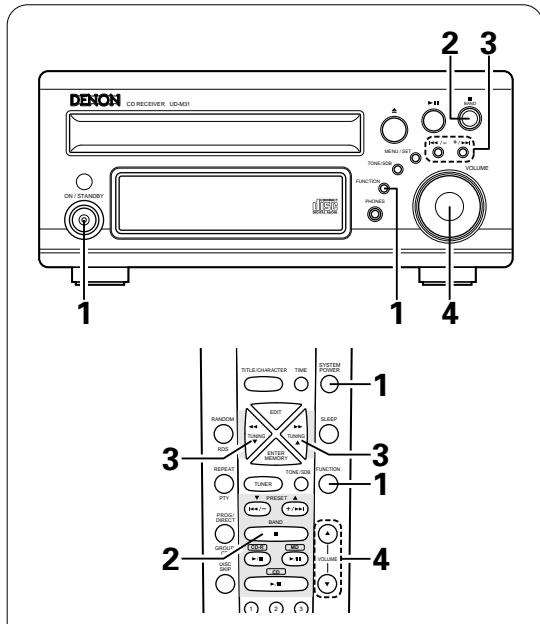
※ スタンバイ状態で、リモコンのチューナーボタンを押しても電源が入り、『TUNER』になります。

2 **バンドボタンを押して、『FM AUTO』、『FM MONO』または『AM』を選択します。**

- 選択したバンドや受信モードが表示されます。

（本体）　（リモコン）

3 **チューニングボタンを押して、受信周波数を合わせます。（本体の－，＋ボタンはチューニングモードでおこないます。）**

- 受信すると、“ TUNED ” が点灯します。

（本体）　（リモコン）

4 **音量を調節します。**

（本体）　（リモコン）

チューニングモードとプリセットモードについて

- 本体の－，＋ボタンは、受信周波数を合わせるチューニングモードと、プリセットされた放送局を選ぶプリセットモードの切り替え式になっています。

（本体）

- 出荷時はチューニングモードに設定されています。バンドボタンを押しながら＋ボタンを押すことにより、プリセットモードに切り替えることができます。（“ PRESET ” 表示が約5秒間点滅します。）

（本体）

- チューニングモードに切り替える場合には、バンドボタンを押しながら－ボタンを押します。（“ TUNING ” 表示が約5秒間点滅します。）

オートチューニングについて

- チューニングボタンを1回押すごとに受信周波数が変化します。
- チューニングボタンを1秒以上押し続けると手を離しても変化を続け、放送を受信すると自動的に停止します。なお、アンテナ入力レベルが弱い（“ TUNED ” 表示が点灯しない）場合は、自動的に停止しません。
- **オートチューニングを止めるとき**は、チューニングボタンを1回（1秒以下）押してください。

（本体）　（リモコン）

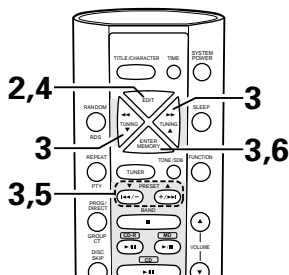
FMステレオ受信について

- 受信モードがAUTOのときにステレオ放送を受信すると、“ ST ” 表示が点灯してステレオ受信になります。
- アンテナ入力レベルが低く、ステレオ受信が困難なときは、受信モードをMONOにしてモノラル受信にすると聞きやすくなります。受信モードは、最後に設定した状態を保持します。

ご注意

AM放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ ピー ” という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

（2）受信した放送局のプリセットのしかた・放送局の名前の付けかた（リモコンのみ）

★ FM/AM合わせて最大40局プリセットできます。
★ プリセットした放送に8桁までの名前を付けることができます。
★ 付属のリモコンを使用して、プリセットしてください。

1 **プリセットしたい放送を受信します。**

2 **エディットボタンを押します。**
- ネーム入力モードになります。

（リモコン）

3 **プリセットボタンを押して文字を選択し、メモリーボタンで1文字ずつ入力します。**

（リモコン）

- ▶▶ボタンまたはメモリーボタンを押すと、選択された文字を確定してカーソルが次の文字に移り、次の文字の入力待ち状態になります。
- ◀◀ボタンを押すと、カーソルを戻すことができます。入力文字を修正するときに使用してください。

（リモコン）

4 **エディットボタンを押して、入力した放送局名を確定します。**
- “ MEMO ” 表示と “ P.SET ” 表示、プリセット番号が点滅します。

（リモコン）

5 **プリセットボタンを使用して、プリセット番号を選択します。**

（リモコン）

6 **メモリーボタンを押して、プリセット番号を確定します。**
- プリセット番号、バンド、受信周波数を表示したのち、ステーションネーム表示になります。

（リモコン）

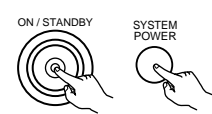
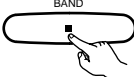
※ **途中で止めたいときは**、操作**4**でエディットボタンを押す前にクリアーボタンを押してください。入力内容がすべて消去されます。

CLEAR
（リモコン）

※ **記憶されている放送局名を消去するときは**、その放送局を呼び出し、エディットボタンを押してネーム入力モードに入り、クリアーボタンを押してください。放送局名は消去され、プリセットチャンネル周波数表示になります。

※ **プリセットのみをおこなうときは**、放送受信中にメモリーボタンを押すと、“ MEMO ” 表示が点滅してプリセット番号入力モードになります。プリセット番号をプリセットボタンを使用して選択し、もう一度メモリーボタンを押すと、放送局が選択した番号にメモリーされます。

（リモコン）　（リモコン）

ラジオ放送の聞きかた（つづき）

(3) オートプリセットのしかた

★FM放送局を自動的にサーチしてプリセット 1番〜40番に記録できます。

1 電源を入れます。

2 ファンクションボタンを押してファンクションを『TUNER』にします。

- ディスプレイが受信周波数表示に切り替わります。

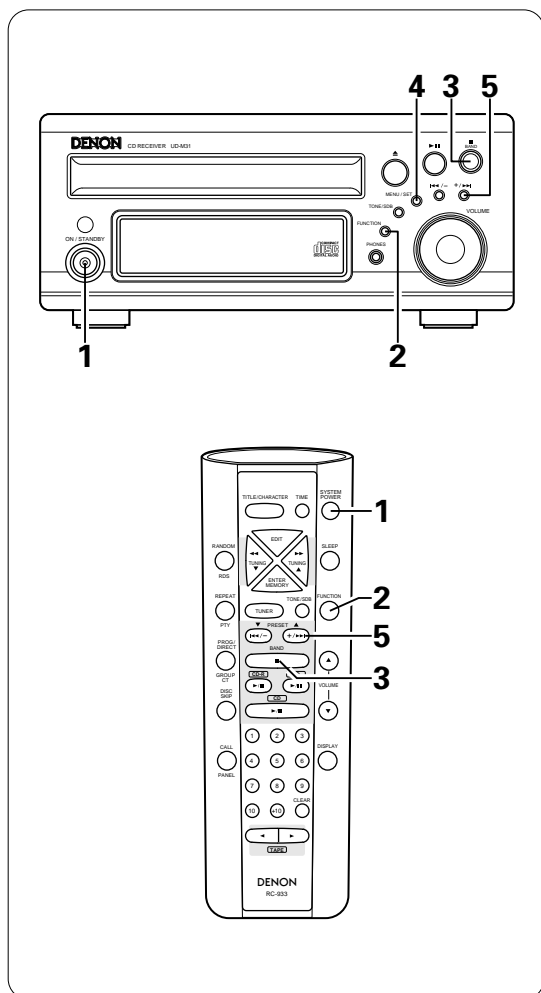
3 バンドボタンを押して、『FM AUTO』または『FM MONO』を選択します。

- 選択した受信モードが表示されます。

4 メニュー/セットボタンを2秒以上押します。

- “AT PRESET”、“CANCEL −”、“START ＋”を交互に表示します。
- このときに−ボタンを押すとモードがキャンセルされ、メニュー/セットボタンを押す前の状態に戻ります。

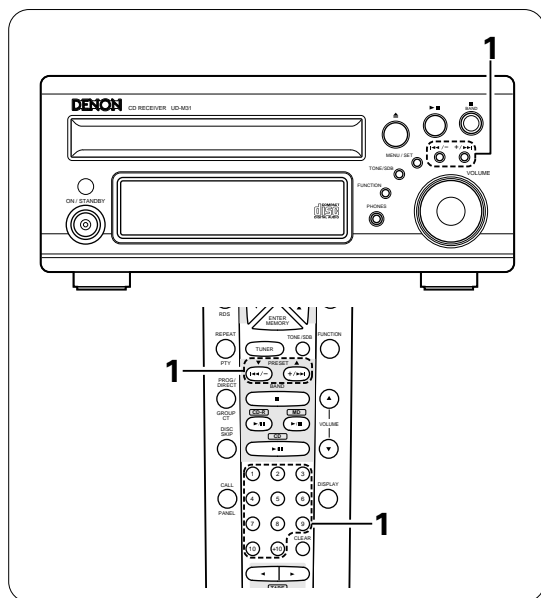
5 ＋ボタンを押して、オートプリセットを開始します。

- サーチ中は“SEARCH”表示が点滅し、サーチが終了すると受信周波数表示に戻ります。
- サーチを途中で止めたいときは、−ボタンを押してください。

ご注意

アンテナ入力レベルの低い電波の放送局はオートプリセットできません。このような場合にはマニュアルチューニングで受信し、『受信した放送局のプリセットのしかた』に従い、操作してください。

ラジオ放送の聞きかた（つづき）

（4）プリセットされた放送の聞きかた

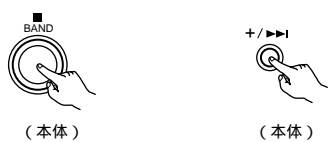
【例】 プリセット番号『3』にプリセットされたFM放送を聞くとき

1 **プリセットボタンを押してプリセット番号『3』を選択するか、テンキーの3を押してプリセット番号『3』を表示させます。**

※ 本体ー，＋ボタンは、プリセットモードにした場合選択できます。

（本体）　（リモコン）　（リモコン）

※ 本体のー，＋ボタンは、チューニングモードとプリセットモードの切り替え式になっています。チューニングモードになっている場合には、バンドボタンを押しながら＋ボタンを押すことにより、プリセットモードに切り替えることができます。

BAND　＋/

（本体）　（本体）

13 タイマーの使いかた

（1）タイマー予約の前に

★ 必ず現在時刻を設定してください。（26ページ参照）現在時刻が設定されていない場合、タイマースタンバイ表示“ ◷ ”は点灯せず、タイマー動作はおこなわれません。

★ タイマー予約をおこなう前に、必ず放送をプリセットしておいてください。（30ページ参照）

★ エブリディタイマー　：毎日1回同じ時刻に電源のON/STANDBY（OFF）ができます。
　ワンスタイマー　　　：1回のみ指定した時刻に電源をON/STANDBY（OFF）できます。
　スリープタイマー　　：電源が切れる時間を10分間隔で最大60分まで設定できます。

★ エブリディタイマー、ワンスタイマー、スリープタイマーの設定時刻範囲が重なっている場合は、スリープタイマーが優先され、エブリディタイマーとワンスタイマーの場合はワンスタイマーが優先されます。

★ タイマーの開始時刻と終了時刻を同じ時間に設定することはできません。

タイマーの使いかた（つづき）

(2) エブリディタイマー/ワンスタイマーの予約のしかた

★ タイマー予約をおこなう前に、必ず現在時刻を設定してください。（26ページ参照）
★ エブリディタイマーは毎日1回同じ時刻に電源のON/STANDBY（OFF）ができます。
　ワンスタイマーは指定した時刻に1回だけ電源のON/STANDBY（OFF）ができます。
★ 本機では、チューナー、CDのタイマー再生をおこなうことができます。
★ CD、TAPE、TUNER、MD、AUXのいずれかのタイマー再生やTUNERまたはAUXからMDレコーダーまたはカセットデッキへのタイマー録音をおこなうことができます。

【例1】エブリディタイマーでプリセット番号『3』（FM 82.5MHz）を12時35分から12時56分まで聞くとき

1 **電源を入れます。**

ON / STANDBY
（本体）

2 **メニュー/セットボタンを押して、“ TIMER ” を表示させます。**

MENU / SET
TIMER
（本体）

3 **ー, ＋ボタンを押して “ EVERYDAY ” を表示させ、メニュー/セットボタンを押します。**

TIMER
（本体）

※ ー,＋ボタンを押すたびに表示が次のように切り替わります。

ONCE ↔ EVERYDAY

MENU / SET
（本体）

4 **メニュー/セットボタンを押します。**

MENU / SET
TIMER
（本体）

5 **ー，＋ボタンを押して、ファンクションを『TUNER』にします。**

TIMER
（本体）

※ ー，＋ボタンを押すたびにファンクションが次のように切り替わります。
＊印はLINE1およびLINE2に設定したファンクションによって替わります。（35ページ参照）

CD ⇄ TUNER ⇄ *(LINE1)
*AUX → (LINE1または2)　*(LINE2)
*TU → (LINE2) ⇄ *TU → (LINE1)

→ は、＋ボタンを押した場合
← は、ーボタンを押した場合

6 **メニュー/セットボタンを押します。**

MENU / SET
（本体）

7 **ー，＋ボタンを押して、プリセット番号『3』を選択します。**

P. SET TIMER MHz
（本体）

8 **メニュー/セットボタンを押します。**

● 選局内容がメモリーされ、タイマーの開始時刻設定状態になります。
●“ E ” と “ oN ” が交互に点灯します。

MENU / SET
TIMER
（本体）

9 **《タイマーの開始時刻の設定》**
ー，＋ボタンを押して、時の桁を『12』に設定します。

TIMER
（本体）

タイマーの使いかた（つづき）

10 **メニュー/セットボタンを押します。**
- 時の桁『12』がメモリーされます。

11 **ー，＋ボタンを押して、分の桁を『35』に設定します。**

12 **メニュー/セットボタンを押します。**
- 開始時刻がメモリーされ、タイマーの終了時刻設定状態になります。
- “ E ” と “ oFF ” が交互に点灯します。

13 **《タイマーの終了時刻の設定》**
ー，＋ボタンを押して、時の桁を『12』に設定します。

14 **メニュー/セットボタンを押します。**
- 時の桁『12』がメモリーされます。

15 **ー，＋ボタンを押して、分の桁を『56』に設定します。**

16 **メニュー/セットボタンを押します。**
- 終了時刻がメモリーされます。

17 **ー，＋ボタンを押して、“ EoN ” を表示させます。**
- エブリディタイマーをONにしてタイマースタンバイ表示 “ ◷ ” が点灯し、タイマー予約が完了します。
  詳しくは、36ページの『エブリディタイマー/ワンスタイマーのON/OFFについて』をご覧ください。

/–　+/
（本体）

TIMER

18 **電源を切ります。**
- スタンバイ状態になります。（電源インジケーターがオレンジ色になります。）
- タイマー開始時刻になると、タイマーが動作します。

ON / STANDBY
（本体）

※ **タイマー設定中に設定を間違えたとき**は、
- 操作***4***〜***15*** の間にストップボタンを押します。（ディスプレイは操作***3*** の状態に戻ります。）
- メニュー/セットボタンをくり返し押して、修正する項目を表示させ、正しく設定し直します。
- 設定を修正し終えたら再びメニュー/セットボタンをくり返し押して、操作***18*** まで進み、予約を完了させてください。

■
BAND
（本体）

ご注意

タイマースタンバイ表示 “ ◷ ” は、現在時刻が設定されていない場合は点灯しません。現在時刻を設定してからおこなってください。（26ページ参照）

タイマーの使いかた（つづき）

【例2】 CDをワンスタイマーで聞くとき

1 **電源を入れます。**

ON / STANDBY

（本体）

2 **ディスクホルダーを開けてCDを載せ、ディスクホルダーを閉めます。**

（本体）

3 **メニュー/セットボタンを押して、“ TIMER ”を表示させます。**

MENU / SET

TIMER

（本体）

4 **ー，＋ボタンを押して“ ONCE ”を表示させ、メニュー/セットボタンを押します。**

TIMER ONCE

（本体）

※ ー, ＋ボタンを押すたびに表示が次のように切り替わります。

ONCE ←→ EVERYDAY

MENU / SET

（本体）

5 **メニュー/セットボタンを押します。**

- ワンスタイマーのタイマー予約モードになります。
- “ I ”（ワンス）が点灯します。

MENU / SET

（本体）

TIMER I FUNC

6 **ー，＋ボタンを押して、ファンクションを『CD』にします。**

TIMER I CD

（本体）

7 **メニュー/セットボタンを押します。**

- タイマーのファンクション『CD』がメモリーされます。

MENU / SET

（本体）

8 **以下の操作は、『エブリディタイマーの予約のしかた』（33、34ページ）の操作*9*～*18*をおこなってください。**

- 開始時刻の設定中は、“ I ” と “ oN ” が交互に点灯します。終了時刻の設定中は、“ I ” と “ oFF ” が交互に点灯します。
- 操作*17*でワンスタイマーをONにします。

★ 本機をD-M31シリーズのMDレコーダー（DMD-M31）またはカセットデッキ（DRR-M31）とシステム接続すると、タイマー再生やタイマー録音をおこなうことができます。（エブリディ/ワンスタイマー共に使用できます。）

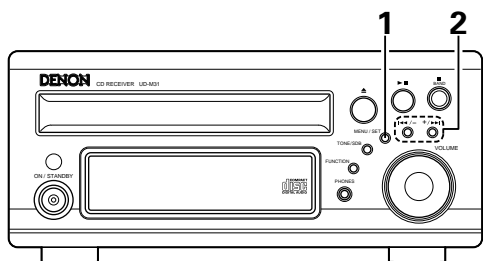
- カセットデッキのタイマー再生（LINE2にTAPEを設定したとき）
- MDレコーダーのタイマー再生（LINE1またはLINE2にMDを設定したとき）
- AUX入力のタイマー再生（LINE1またはLINE2にAUXを設定したとき）
- 本機のラジオ放送からカセットデッキへのタイマー録音（LINE2にTAPEを設定したとき）
- 本機のラジオ放送からMDレコーダーへのタイマー録音（LINE1にMDを設定したとき）
- AUX入力の接続機器からカセットデッキへのタイマー録音（LINE1にAUXを、LINE2にTAPEを設定したとき）
- AUX入力の接続機器からMDレコーダーへのタイマー録音（LINE1とLINE2にAUXとMDを設定したとき）

※ AUX接続機器へのタイマー録音はできません。LINE1とLINE2に設定したファンクションによって、タイマーファンクションの内容は自動的に変わります。

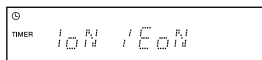
ご注意

AUX入力接続機器のタイマー録音/再生の場合、入力接続機器の電源や再生のコントロールはできませんので、ご使用の入力機器の状況に合わせて設定してください。

(3) エブリディタイマー/ワンスタイマーのON/OFFについて

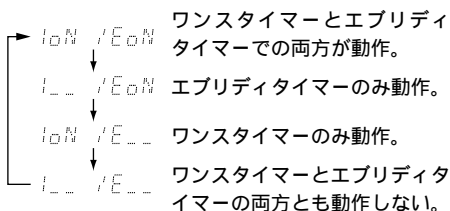
★『(2) エブリディタイマー/ワンスタイマーの予約のしかた』(33〜35ページ) で予約を完了した後、エブリディタイマー/ワンスタイマーをONにしてタイマー動作をおこないます。

1 **メニュー/セットボタンを押して、タイマースタンバイ設定モードにします。**

● 現在の設定内容が表示されます。

MENU / SET
(本体)

2 **−, ＋ボタンを押して、タイマー動作をおこなうタイマーを選択します。**

● −, ＋ボタンを押すたびに、次のように設定が変わります。

(本体)

表示	動作
IoN IEoN	ワンスタイマーとエブリディタイマーでの両方が動作。
I__ IEoN	エブリディタイマーのみ動作。
IoN IE__	ワンスタイマーのみ動作。
I__ IE__	ワンスタイマーとエブリディタイマーの両方とも動作しない。

● ワンスタイマーとエブリディタイマーのどちらかが有効のとき、タイマースタンバイ表示 “ ◷ ” が点灯します。この表示は約4秒後、自動的に元の表示に戻ります。

※ −, ＋ボタンを押してタイマースタンバイ表示 “ ◷ ” を点灯させると、タイマー動作をおこないます。

※ **タイマー動作をおこなわないとき**は、−, ＋ボタンを押して、タイマースタンバイ表示 “ ◷ ” を消灯させてください。

(本体)

● ワンスタイマーのみ予約した場合、−, ＋ボタンを押すたびに次のように設定が変わります。

(本体)

IoN IE__ ↔ I__ IE__

● エブリディタイマーのみ予約した場合、−, ＋ボタンを押すたびに次のように設定が変わります。

I__ IEoN ↔ I__ IE__

ご注意

● タイマースタンバイ表示 “ ◷ ” は、現在時刻が設定されていない場合は点灯しません。現在時刻を設定してください。(26ページ参照)

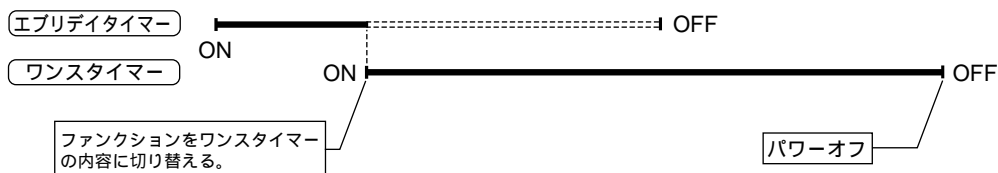
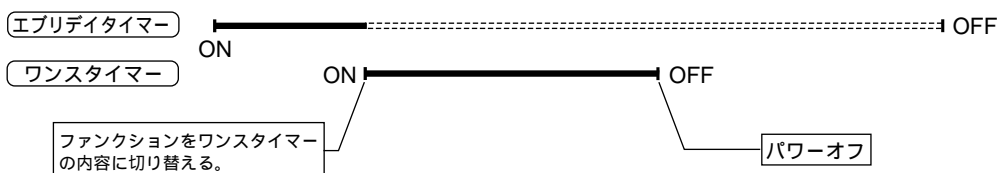
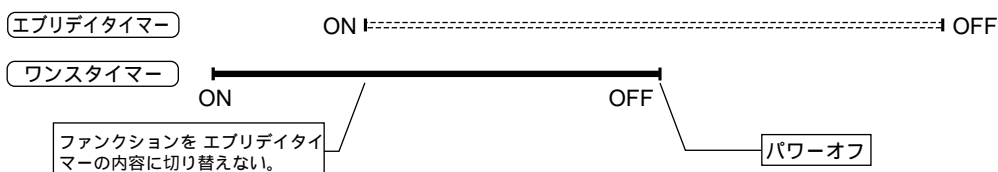
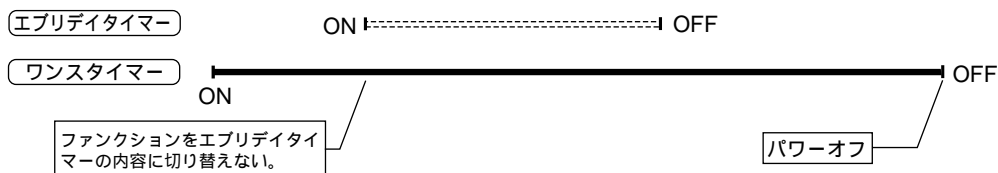
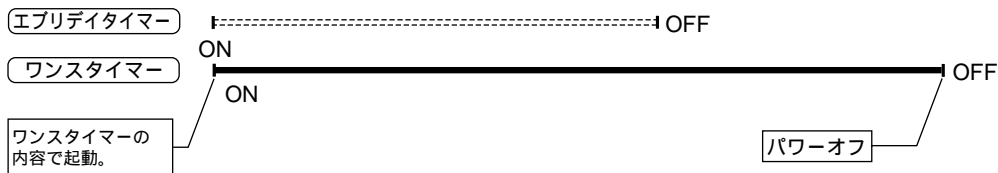
● エブリディタイマー、ワンスタイマーの設定時刻が重なったときはワンスタイマーが優先されます。(37ページ参照)

● タイマー動作をさせるときは、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。

タイマーの使いかた（つづき）

(4) エブリディタイマーとワンスタイマーの優先順位について

★エブリディタイマー/ワンスタイマーの予約設定時刻範囲が重なったときは、ワンスタイマーが優先されます。

例1）**エブリディタイマーで電源ONになった後、ワンスタイマーの開始時刻になった場合①**

例2）**エブリディタイマーで電源ONになった後、ワンスタイマーの開始時刻になった場合②**

例3）**ワンスタイマーで電源ONになった後、エブリディタイマーの開始時刻になった場合①**

例4）**ワンスタイマーで電源ONになった後、エブリディタイマーの開始時刻になった場合②**

例5）**エブリディタイマーとワンスタイマーの開始時刻が同じ時刻の場合**

タイマーの使いかた（つづき）

(5) エブリディタイマー/ワンスタイマーについて

■ タイマー予約の内容を確認するとき

- タイマー予約の動作と同じ方法で確認できます。
  ① メニュー/セットボタン（MENU/SET）を押して、“ TIMER ” を表示させせます。
  ② −,＋ボタンを押して、“ EVERYDAY ” または “ ONCE ” を表示させせます。
  ③ メニュー/セットボタン（MENU/SET）を押すたびに、設定したファンクション、開始時刻、終了時刻、タイマースタンバイ設定の順に表示されます。
  ④ タイマースタンバイ設定表示で5秒後、エブリディタイマー、ワンスタイマー設定前の状態に戻ります。

■ タイマー予約の内容を変更するとき

- 変更したい内容でタイマー予約の操作を最初からおこなってください。
  以前に予約された内容が消えて、新しく予約された内容になります。
- タイマー予約の途中で変更する場合は、ストップボタン（■）を押すと “ EVERYDAY ” または “ ONCE ” 表示まで戻りますので、再度入力操作をおこなってください。

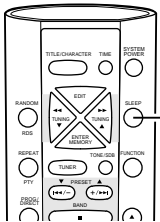
■ タイマー予約の内容を消去するとき

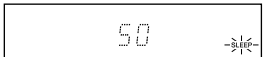
① メニュー/セットボタン（MENU/SET）を押して、“ TIMER ” を表示させせます。
② −,＋ボタンを押して、内容を消去したい “ EVERYDAY ” または “ ONCE ” を表示させせます。
③“ EVERYDAY ” または “ ONCE ” 表示中にストップボタン（■）を約2秒以上押すと、そのタイマー予約の内容が消去されます。

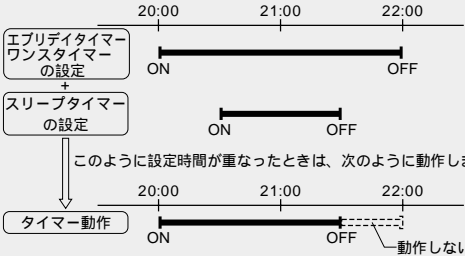
■ タイマー予約を止めるとき（タイマー動作をおこなわないとき）

- 『(3) エブリディタイマー/ワンスタイマーのON/OFFについて』（36ページ）に従って操作し、ワンスタイマーとエブリディタイマーの両方とも動作しないモード（I__/ E__）に設定を変えてください。

■ 停電になったとき

- 停電になったときや電源コードをコンセントから抜いた後、再び電源が入ると時計表示にしたとき “ SET TIME ” が表示されたのち時計表示が点滅します。もう一度現在時刻を合わせてください。
- ワンスタイマーの予約の内容は消去されます。もう一度タイマー予約をおこなってください。
- エブリディタイマー内容およびチューナーのプリセット内容が消えていた場合は、もう一度プリセットしてください。

タイマーの使いかた（つづき）

（6）スリープタイマーの予約のしかた（リモコンのみ）

★付属のリモコンを使用して、電源をスタンバイ状態にする時間を10分間隔で最大60分まで設定できます。（スリープタイマー）
★設定した時間（分）後に、自動的に電源をスタンバイ状態にすることができます。

【例】50分後に電源をスタンバイになるように設定するとき

1 **お好みのファンクションを選び、再生します。**

2 **スリープボタンを押します。**

● “ 60 ” が表示され、“ SLEEP ” 表示が点滅します。

SLEEP（リモコン）

※ スリープボタンを押すたびに、表示が次のように切り替わります。

→ 60 → 50 → 40 → 30 → 20 → 10 → “ SLEEP ” 表示消灯

3 **“ SLEEP ” 表示が点滅している間に、もう一度スリープボタンを押します。**

● “ 50 ” が表示され、“ SLEEP ” 表示が点滅します。

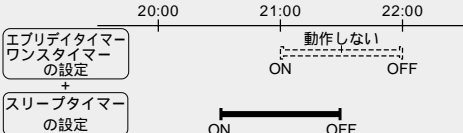
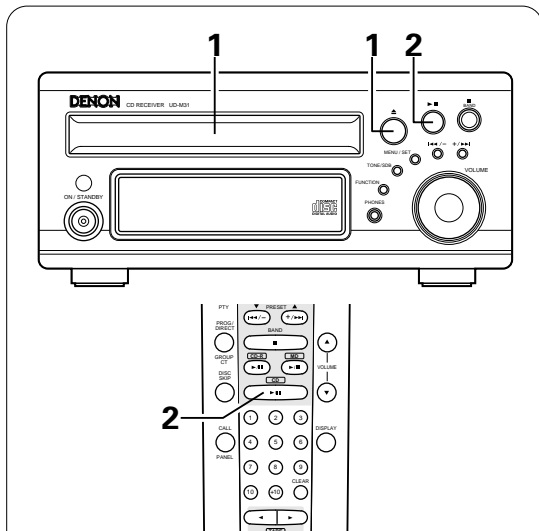
SLEEP（リモコン）

● 約5秒後、スリープタイマー設定前の状態に戻り、“ SLEEP ” 表示が点灯します。（これでスリープタイマーの設定が完了します。）

4 **50分後に電源がスタンバイになります。**

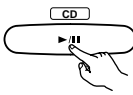
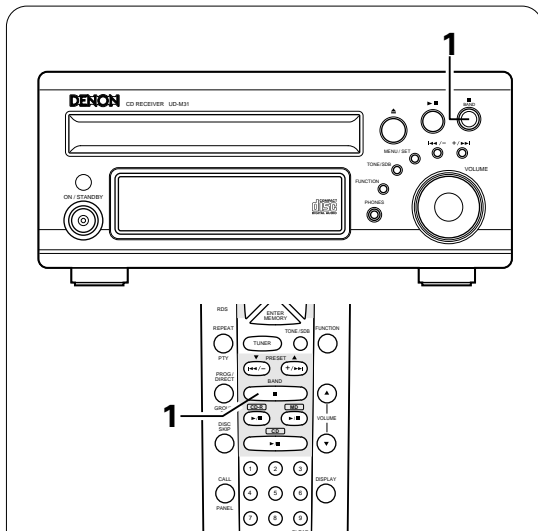
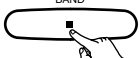
※ **スリープタイマーを止めるとき**は、“ SLEEP ” 表示が消灯するまでスリープボタンをくり返し押してください。
また、本機またはリモコンの電源ボタンを押して、システム全体の電源をスタンバイにしたときもスリープタイマーを止めることができます。

SLEEP（リモコン）　ON / STANDBY（本体）　SYSTEM POWER（リモコン）

ご注意

● スリープタイマー動作中にスリープボタン（SLEEP）を押すと、設定時間が60に戻ります。もう一度設定してください。
● スリープタイマー、エブリディタイマー、ワンスタイマーの設定時刻範囲が重なったときは、スリープタイマーが優先されます。

● また、スリープタイマーの動作時間内にエブリディタイマー、ワンスタイマーの開始時刻を設定してもエブリディタイマー、ワンスタイマーは動作しません。

14 CDの再生のしかた

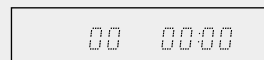
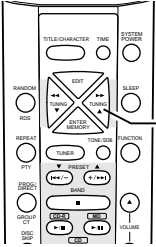
(1) 通常の再生のしかた

1 再生のはじめかた

1 **ディスクホルダーを開けてCDを載せ、ディスクホルダーを閉めます。**

2 **プレイ/ポーズボタンを押します。**
- 再生をはじめます。

2 再生の止めかた

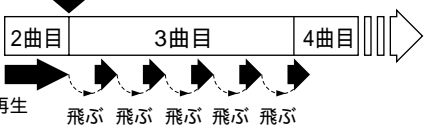
1 **再生中にストップボタンを押します。**
- 再生が停止します。

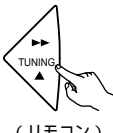
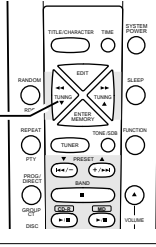
※ CDに収録されているすべての曲の再生が終わると自動的に停止します。

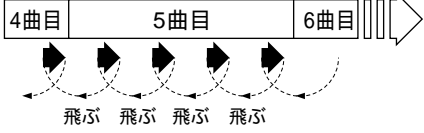
ご注意

- CDが装着されていない場合、およびCDを裏返しに装着した場合、CDの情報が正しく読めない場合は、表示部がすべてゼロ表示になります。
- スタンバイ状態でディスクホルダー開閉ボタン（⏏）やプレイ/ポーズボタン（▶/❚❚）を押すと電源が入り、ディスクホルダーの開閉動作や再生動作をおこないます。
- CDに、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因になることがあります。

CDの再生のしかた（つづき）

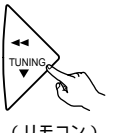
(2) 早聞きしながら好きな部分を探すとき（リモコンのみ）　『マニュアルサーチ』

★ 飛び飛びに早聞きすることができます。
★ 長い曲の中から好きな部分を探して、途中から聞くときに便利です。

1 早送りするとき

1 **再生中に▶▶ボタンを押し続けます。**
- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

▶▶ボタンを押し続ける。

※ CDの最後までマニュアルサーチをすると停止します。
※ **音を聞かずに高速早送りをおこなうとき**は、一時停止中に▶▶ボタンを押し続けてください。

（リモコン）

2 早戻しするとき

1 **再生中に◀◀ボタンを押し続けます。**
- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

◀◀ボタンを押し続ける。

※ CDのはじめまでマニュアルサーチをすると、1曲目より再生を再開します。
※ **音を聞かずに高速早戻しをおこなうとき**は、一時停止中に◀◀ボタンを押し続けてください。

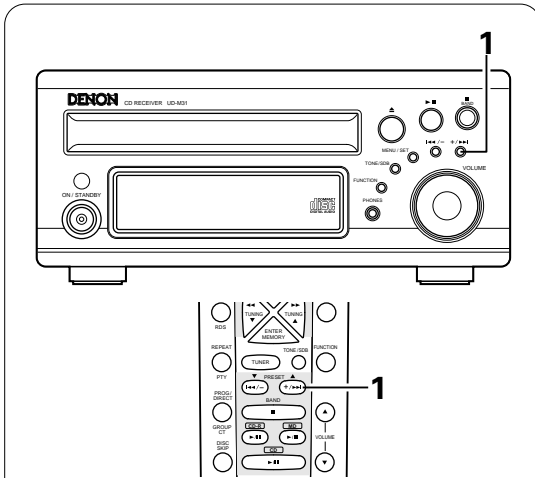
（リモコン）

ご注意

マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがありますが、故障ではありません。

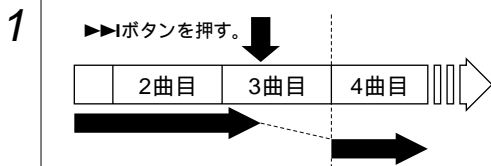
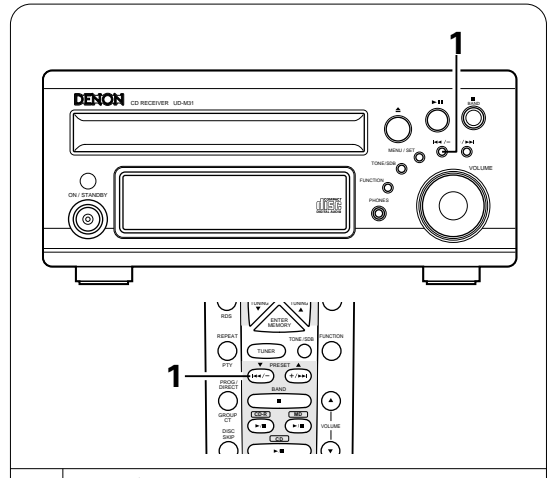
CDの再生のしかた（つづき）

(3) 再生途中で曲の頭出しをするとき　『オートマチックサーチ』

1 次の曲の頭出し

►►Iボタンを押します。
- ボタンを続けて押すと、次々と後ろの曲の頭出しをおこなうことができます。

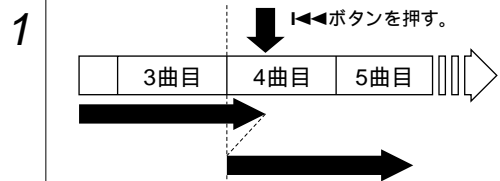
（本体）（リモコン）

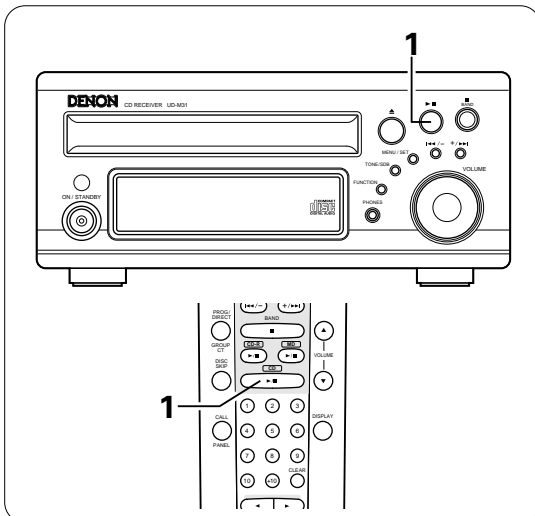
►►Iボタンを押す。

	2曲目	3曲目	4曲目

2 聞いている曲の頭出し

I◄◄ボタンを押します。
- ボタンを続けて押すと、次々と前の曲の頭出しをおこなうことができます。

（本体）（リモコン）

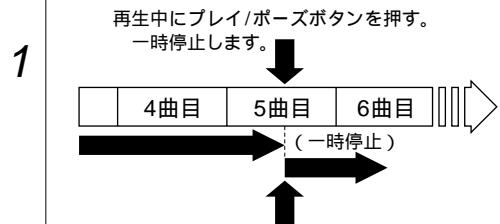
I◄◄ボタンを押す。

	3曲目	4曲目	5曲目

(4) 再生途中で一時的に止めておくとき　『ポーズ』

★ 再生の途中で再生を一時止め、再びその位置から聞くことができます。

再生中にプレイ/ポーズボタンを押します。
- 再生を一時停止します。

（本体）（リモコン）

再生中にプレイ/ポーズボタンを押す。
→一時停止します。

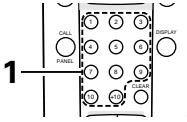
	4曲目	5曲目	6曲目

（一時停止）

一時停止中にプレイ/ポーズボタンを押す。
→再生をはじめます。

※ **一時停止した位置から再び再生をはじめるときは**プレイ/ポーズボタンを押してください。

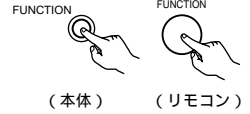
（本体）（リモコン）

CDの再生のしかた（つづき）

（5）好きな曲を聞くとき（リモコンのみ）　『ダイレクト選曲』

1 **テンキーまたは+10ボタンを押して、聞きたい曲番を選びます。**

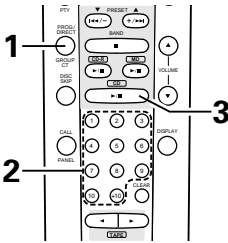
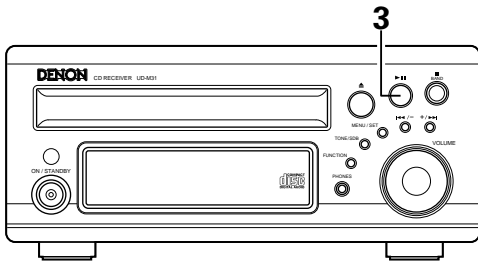
- 例えば、4曲目を聞きたいときは[4]、12曲目を聞きたいときは[+10]、[2]、20曲目を聞きたいときは[+10]、[10]と押してください。その曲から再生がはじまります。

※ 他のファンクションに切り替わっている場合は、ファンクションを『CD』に切り替えてからおこなってください。

（本体）　（リモコン）

※“ PROG ” 表示が点灯している場合には、停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押して、“ PROG ” 表示を消灯させてください。

（リモコン）

（6）聞きたい曲を好きな順番で聞くとき（リモコンで設定）　『プログラム再生』

★ CDに収録されている曲の中から聞きたい曲を選び、好きな順番に聞くことができます。
★ 最大25曲までプログラムすることができます。

1 **停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押して、“ PROG ” 表示を点灯させます。**

※ 他のファンクションに切り替わっている場合は、ファンクションを『CD』に切り替えてからおこなってください。

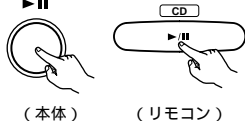
（リモコン）

2 **テンキーまたは+10ボタンを押して、プログラムしたい曲番を選びます。**

- 例えば3曲目、12曲目、7曲目とプログラムしたい場合は、[3]、[+10]、[2]、[7] と押してください。

3 **プレイ/ポーズボタンを押します。**

- プログラムされた順に再生をはじめます。

（本体）　（リモコン）

※ **プログラムする曲を間違えたとき**は、停止中にクリアーボタンを押して、もう一度やり直してください。（クリアーボタンを押すたびにプログラムされている曲の最終曲が取り消されます。）

（リモコン）

※ **プログラム内容をすべて取り消すとき**は、停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押して、“ PROG ” 表示を消灯させるとダイレクト再生になります。

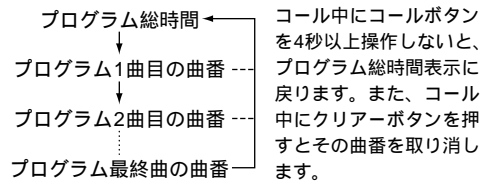
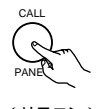
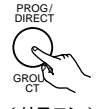
（リモコン）

※ **プログラム内容を変更するとき**は、停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押して、一旦 “ PROG ” 表示を消灯させてからもう一度操作***1***,***2***をおこなってください。

※ **プログラム内容を確認するとき**は、停止中にコールボタンを押してください。押すたびに、表示が次のように切り替わります。

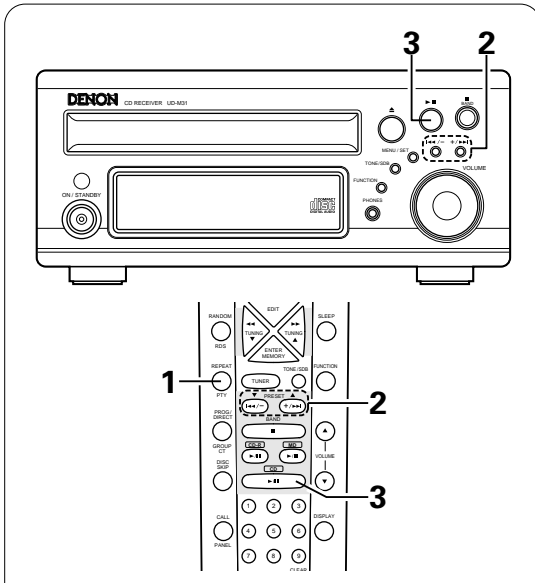
（リモコン）

プログラム総時間 → プログラム1曲目の曲番 → プログラム2曲目の曲番 → …… → プログラム最終曲の曲番 →（プログラム総時間へ戻る）

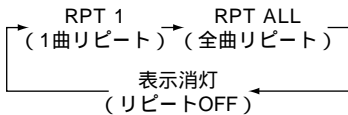
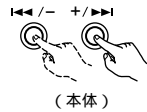
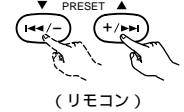
コール中にコールボタンを4秒以上操作しないと、プログラム総時間表示に戻ります。また、コール中にクリアーボタンを押すとその曲番を取り消します。

ご注意

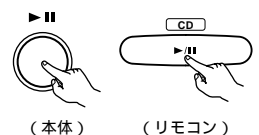
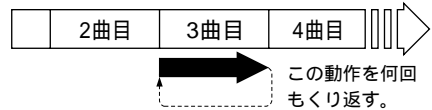
- 再生中、プログラム再生の設定、解除はできません。
- プログラム再生中にリピートボタン（REPEAT）を押すと、プログラムされた全曲のプログラムリピート再生になり、プログラムされた順に再生をくり返します。
- プログラムされた状態でディスクホルダーを開いたとき、プログラム内容は消去され、ダイレクトモードになります。

（7）くり返して聞くとき（リモコンで設定）　『リピート再生』

1 1曲のみをくり返して聞くとき　『1曲リピート再生』

1 **停止中にリピートボタンを1回押します。**

- “ RPT ” 表示と “ 1 ” 表示が点灯します。
- リピートボタンは、押すたびに次のように切り替わります。

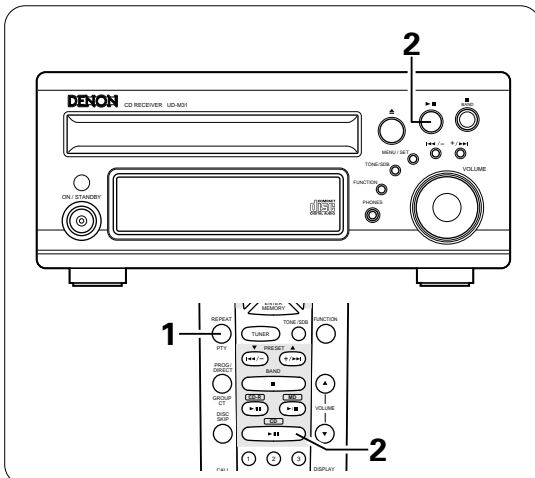
RPT 1（1曲リピート）→ RPT ALL（全曲リピート）→ 表示消灯（リピートOFF）→

2 **オートマチックサーチボタンを押して、聞きたい曲番を選びます。**

3 **プレイ/ポーズボタンを押します。**

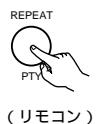
- 選択された曲の再生をはじめます。
- 選択された曲の再生が終わると、その曲の頭に戻って再生をくり返します。

【例】3曲目を選んだとき

※ 再生中にリピートボタンを1回押された場合も、再生中の曲を1曲リピート再生します。
※ **1曲リピート再生を止めるときは**、“ RPT ” 表示が消灯するまで、リピートボタンをくり返し押してください。

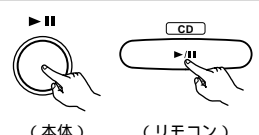
REPEAT
PTY
（リモコン）

ご注意

プログラム再生中およびランダム再生中、1曲リピート再生はできません。

2 全曲をくり返して聞くとき　『全曲リピート再生』

1 **停止中にリピートボタンを続けて2回押します。**

- “ RPT ” 表示と “ ALL ” 表示が点灯します。

2 **プレイ/ポーズボタンを押します。**

- CDの全曲リピート再生をはじめます。

※ 再生中にリピートボタンを2回押された場合も、再生中のCDを全曲リピート再生します。
※ **全曲リピート再生を止めるときは**、“ RPT ” 表示が消灯するまでリピートボタンをくり返し押してください。

（8）順不同に聞くとき（リモコンで設定）　『ランダム再生』

★ CDに収録されている曲をランダム（無作為）な順序で1回ずつ聞くことができます。
★ ランダム再生可能な曲番は1〜99曲までです。

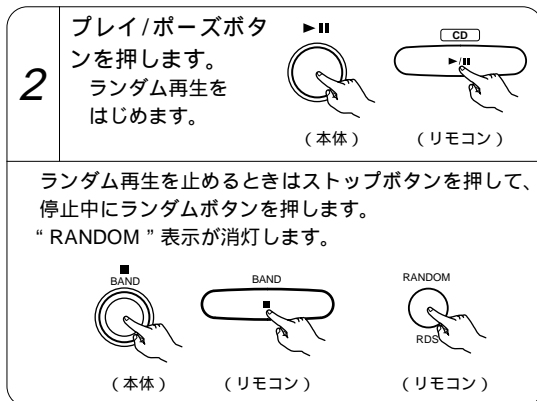
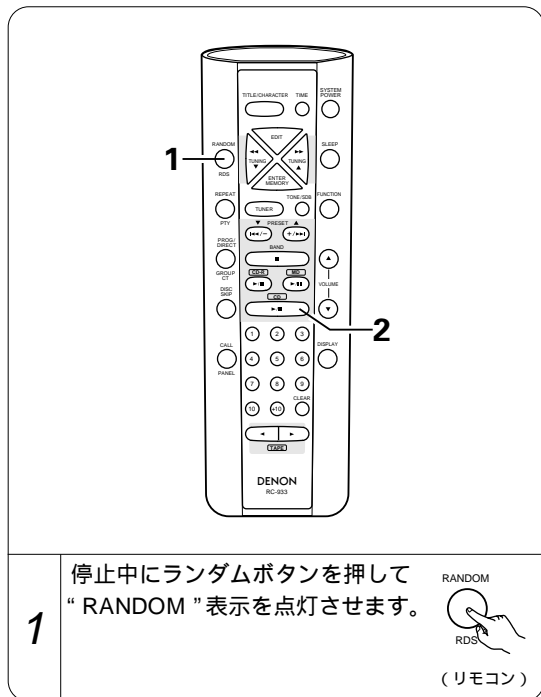
1 **停止中にランダムボタンを押して“ RANDOM ”表示を点灯させます。**

（リモコン）

2 **プレイ/ポーズボタンを押します。**
- ランダム再生をはじめます。

（本体）　（リモコン）

※ **ランダム再生を止めるとき**はストップボタンを押して、停止中にランダムボタンを押します。
“ RANDOM ” 表示が消灯します。

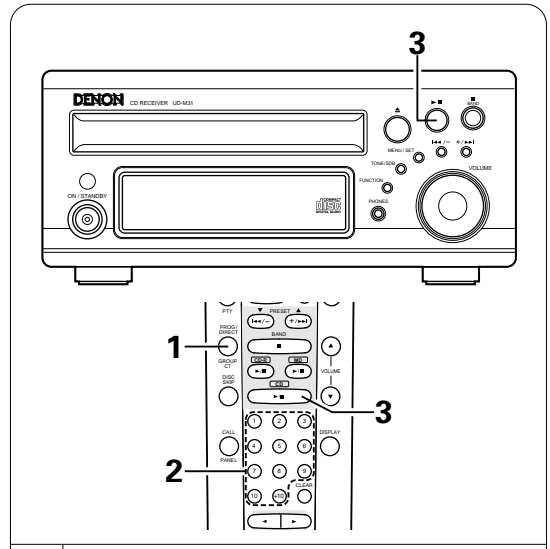
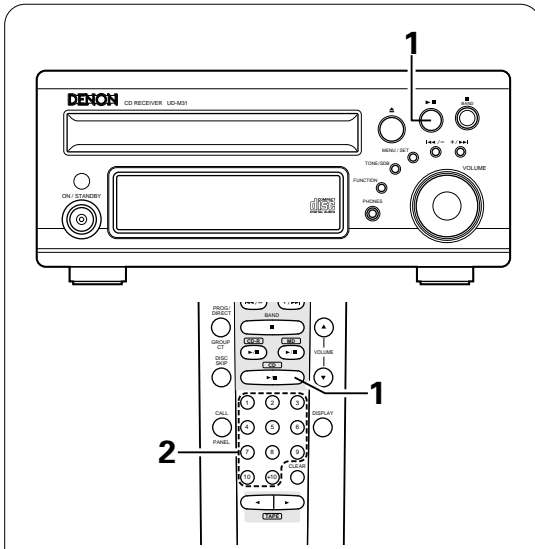
（本体）　（リモコン）　（リモコン）

ご注意

- 再生中、ランダム再生の設定、解除はできません。
- ランダム再生中にリピートボタンを押すと全曲のランダムリピート再生になり、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。以後毎回違った曲順でランダム再生が楽しめます。

CDの再生のしかた（つづき）

(9) 頭出しをした状態で再生を止めておくとき　『ポーズ』

1 ダイレクト選曲による頭出し

★ダイレクト選曲によって選んだ曲の頭出しをした状態で一時停止しておくと、MD、カセットテープへの録音をおこなうときなどに便利です。

1 **プレイ/ポーズボタンを、停止中は続けて2回、再生中は1回押します。**
- "❚❚"表示が点灯し、一時停止します。

（本体）　（リモコン）

2 **テンキーまたは+10ボタンを押して、聞きたい曲番を選びます。**

※**再生をはじめるとき**は、プレイ/ポーズボタンを押してください。

（本体）　（リモコン）

※**プログラム再生になっている場合**には、プログラム/ダイレクトボタンを押し、ダイレクト再生モードにしてからおこなってください。
（" PROG " 表示を消灯させます。）

（リモコン）

2 プログラム選曲による頭出し

1 **停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押して、" PROG " 表示を点灯させます。**

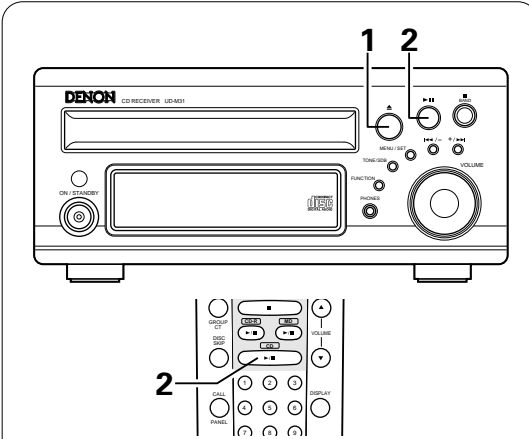
（リモコン）

2 **テンキーまたは+10ボタンを押して、プログラムしたい曲番を選びます。**

3 **プレイ/ポーズボタンを続けて2回押します。**
- プログラムされた第1曲目の頭出しをおこない、一時停止します。

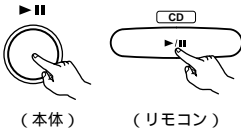
（本体）　（リモコン）

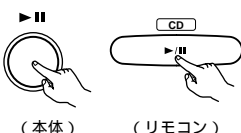
※**再生をはじめるとき**は、プレイ/ポーズボタンを押してください。

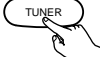
（本体）　（リモコン）

15 システム機能について

★本機をD-M31シリーズのMDレコーダー（DMD-M31）またはカセットデッキ（DRR-M31）とシステム接続すると、さらに使いやすさが向上します。（接続のしかたは、10、11ページの『接続のしかた』を参照してください。）

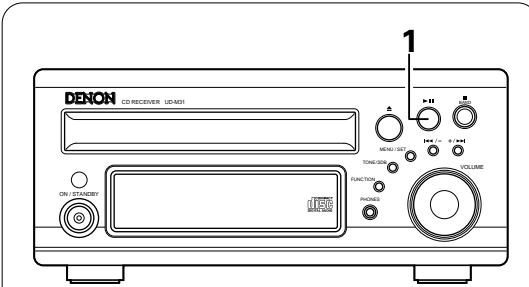
★接続した機器と入出力ファンクションの設定が合っていないとシステム機能は正常に働きません。必ずご購入の機器と入出力ファンクションを合わせてご使用ください。（27、28ページ参照）

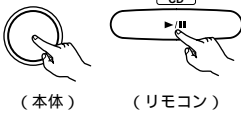
(1) オートパワーオン機能

★電源がスタンバイ状態のとき、本機にCDが装着されていれば、CDのプレイ/ポーズボタン（▶/❚❚）を押すだけで本機の電源が入り、CDの再生をおこなうことができます。

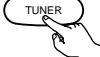
1 **本機がスタンバイ状態のとき、ディスクホルダーを開けてCDを載せ、ディスクホルダーを閉めます。**
- 本機の電源が入ります。

（本体）

2 **CDのプレイ/ポーズボタンを押します。**
- 入力ファンクションが自動的に『CD』に切り替わります。
その後、CDの再生をはじめます。

（本体）　（リモコン）

※本機がスタンバイ状態でCDが装着されている場合は、CDのプレイ/ポーズボタンを押すだけで、本機の電源が入り、CDの再生をはじめます。

（本体）　（リモコン）

（リモコン）

- **ラジオ放送を聞く場合**は、リモコンのチューナーボタンを押すだけで、本機の電源が入り、ラジオを受信します。
- D-M31シリーズのMDレコーダー（DMD-M31）またはカセットデッキ（DRR-M31）とシステム接続すると、同様にオートパワーオン機能が働きます。詳細は各機器の取扱説明書を参照してください。

(2) オートファンクション機能

★ボタン1つの操作でファンクションを『CD』に切り替えて、CDの再生をおこなうことができます。

1 **CD以外の機器（カセットデッキ、MDレコーダー）の再生中にCDのプレイ/ポーズボタンを押します。**
- 再生中の機器の再生が停止します。同時に本機のファンクションが『CD』に切り替わり、CDの再生をはじめます。

（本体）　（リモコン）

（リモコン）

- **ラジオ放送を聞く場合**は、リモコンのチューナーボタンを押します。
- D-M31シリーズのMDレコーダー（DMD-M31）またはカセットデッキ（DRR-M31）とシステム接続すると、同様にオートファンクション機能が働きます。詳細は各機器の取扱説明書を参照してください。
- AUX入出力設定にて接続された機器に対しては、オートファンクション機能は働きません。

システム機能について（つづき）

（3）CD→MD録音機能（UD-M31、DMD-M31、システムコード接続時）

★CDを簡単にミニディスクに録音することができます。本機のデジタル出力をDMD-M31のデジタル入力1に接続し、デジタル録音します。（DMD-M31の入力切り替えで“ OPT-1 ”にします。）

1 同期録音機能

1	**本機の電源を入れます。** ● システムの電源が入ります。 ON / STANDBY（UD-M31） SYSTEM POWER（リモコン）
2	**ファンクションボタンを押して、ファンクションを『CD』にします。** FUNCTION（UD-M31） FUNCTION（リモコン）
3	**本機のディスクホルダーを開けてCDを載せ、ディスクホルダーを閉めます。** （UD-M31）
4	**ディスプレイにCDの総曲数と総時間が表示されるのを確認します。** 【例】総曲数：16曲、総時間：53分20秒のCDの場合 TRACK 16 53:20
5	**MDレコーダーのMD挿入口に、録音するMDを入れます。**
6	**MDレコーダーの録音ボタンを1回押して、録音一時停止状態にします。** MULTI REC（DMD-M31）
7	**CDのプレイ/ポーズボタンを押します。** ● 自動的にCDの録音をはじめます。 （UD-M31） CD ►/II（リモコン）

※ CDの再生が終わると、録音一時停止状態になります。

2 シンクロ録音機能

①〜⑤	**1の1〜5と同じ操作をおこないます。**
⑥	**MDレコーダーのCDシンクロ録音ボタンを押して、シンクロ録音モードを選びます。** CD SRS（DMD-M31） ●ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。 SRS1disc Rec?：1枚のCDをすべて録音します。 ↓ SRS Make Gp? ：1枚のCDをすべて録音し自動的に1つのグループとして登録されます。 ↓ SRS1stTr Rec?：CDの最初の1曲のみを録音します。 ※ 本機の I◄◄ボタンまたは►►Iボタンで曲番を選択した後、MDレコーダーで“ SRS 1Tr Rec? ”を指定すると希望の1曲のみシンクロ録音します。
⑦	**MDレコーダーのエンターボタンを押します。** ●自動的にCDの録音がはじまります。 I◄◄ ►►I PUSH ENTER（DMD-M31）

※ CDに収録されているすべての曲の再生が終わると、本機とMDレコーダーは自動的に停止します。
※ また、CDの再生が終わらないうちにMD一杯に録音されたときも、本機とMDレコーダーは自動的に停止します。
※ **シンクロ録音を止めるとき**は、本機またはMDレコーダーのストップボタン（■）を押してください。

ご注意

- 本機のファンクションがCD以外のときは、動作しません。
- プログラム再生モードのとき、シンクロ録音機能は動作しません。また、ランダム再生モード、リピート再生モードのときは、それぞれのモードを解除して動作します。

システム機能について（つづき）

（4）CD→TAPE録音機能（UD-M31、DRR-M31、システムコード接続時）

★ CDを簡単にカセットテープに録音することができます。

1 同期録音機能

1	**本機の電源を入れます。** ● システムの電源が入ります。 ON / STANDBY（UD-M31）　SYSTEM POWER（リモコン）
2	**ファンクションボタンを押して、ファンクションを『CD』にします。** FUNCTION（UD-M31）　FUNCTION（リモコン）
3	**本機のディスクホルダーを開けてCDを載せ、ディスクホルダーを閉めます。** ▲（UD-M31）
4	**ディスプレイにCDの総曲数と総時間が表示されるのを確認します。** **【例】**総曲数：16曲、総時間：53分20秒のCDの場合 TRACK 16 53:20
5	**カセットホルダーを開けて、録音するカセットテープを載せ、カセットホルダーを閉じます。** ▲（DRR-M31）
6	**カセットデッキの録音ボタンを1回押して、録音一時停止状態にします。** REC（DRR-M31）
7	**CDのプレイ/ポーズボタンを押します。** ● 自動的にCDの録音をはじめます。 ►II（UD-M31）　CD ►/II（リモコン）

※ CDの再生が終わると、録音一時停止状態になります。

2 シンクロ録音機能

①〜⑤	**1の1〜5と同じ操作をおこないます。**
⑥	**カセットデッキのCDシンクロ録音ボタンを押します。** ● 自動的にCDの録音をはじめます。 CD SRS（DRR-M31）

※ CDに収録されているすべての曲の再生が終わると、本機とカセットデッキは自動的に停止します。

※ また、CDの再生が終わらないうちにカセットテープ一杯に録音されたときも、本機とカセットデッキは自動的に停止します。

※ **シンクロ録音を止めるとき**は、本機またはカセットデッキのストップボタン（■）を押してください。

ご注意

- 本機のファンクションがCD以外のときは、動作しません。
- プログラム再生モードのとき、シンクロ録音機能は動作しません。また、ランダム再生モード、リピート再生モードのときは、それぞれのモードを解除して動作します。

システム機能について（つづき）

（5）エディット編集機能（UD-M31、DRR-M31、システムコード接続時）

★録音用カセットテープの長さ（テープ時間）に合わせて、CDの曲をA面とB面に分割して自動編集することができます。

★CDの収録曲数が25曲まで編集録音できます。26曲以上収録されているCDではエディット操作はできません。

【例】収録曲数：16曲、収録時間：56分、録音用カセットテープ：C-60の場合

1 **本機の電源を入れます。**
- システムの電源が入ります。

（UD-M31）　（リモコン）

2 **カセットホルダーを開けて、録音するカセットテープを載せ、カセットホルダーを閉めます。**
※ A面を上に向けて入れます。

（DRR-M31）

3 **ファンクションボタンを押して、ファンクションを『CD』にします。**

（UD-M31）　（リモコン）

4 **本機のディスクホルダーを開けてCDを載せ、ディスクホルダーを閉めます。**

（UD-M31）

5 **エディットボタンを押して、録音するカセットテープの長さを合わせます。**

（リモコン）

- 例えば、60分のカセットテープを使用する場合は、エディットボタンを2回押してください。（カセットテープの長さはA面とB面を合わせた時間です。）

※ エディットボタンを続けて押すたびに、表示が次のように切り替わります。

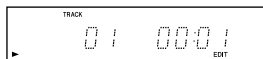
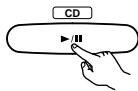
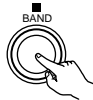
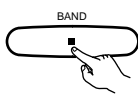
カセットテープの長さを設定後、約3秒経つと、A面に録音する曲番とカセットテープの残り時間が、表示されます。
（曲番1〜9をA面、A面の残り2分40秒の例）

その後数秒おきにB面の曲番と残り時間、A面の曲番と残り時間が交互に表示されます。
（曲番10〜16をB面、B面の残り1分20秒の例）

※ 残り時間が“ OVER ”と表示された場合は、すべての曲を録音できませんので、カセットテープの長さを変更してください。

※ 46、60、90分以外の設定をおこなう場合は、“ C--- ”が表示されているときにリモコンのテンキーと+10ボタンで、時間を入れてください。99分までの設定ができます。時間の入力のしかたはCDのダイレクト選曲と同じです。

【例】54分に設定する場合
“ C--- ”が表示されているときに、テンキーの +10、+10、+10、+10、+10、4 を押してください。

システム機能について（つづき）

ご注意

- エディット編集機能は、26曲以上収録されているCDでは編集録音をすることができません。
- カセットデッキのカセットトレイに、使用するカセットテープのA面を上に向けて入れてから編集録音の操作をおこなってください。自動的にカセットテープの頭出しをしてから録音をはじめます。
- 録音されているカセットテープを編集録音に使用する場合、テープが設定時間より長いときはB面の未録音部分を残して停止しますので、一度消去してからご使用ください。
- エディット編集機能による録音の場合は、カセットデッキのリバースモードが ⇄ モードに設定されている場合A面を録音すると停止します。カセットデッキのリバースモードを ⊃ モードに切り替えてください。
- 使用するカセットテープテープがCDの収録時間より若干長くても、A面・B面それぞれの振り分け時間の関係で全曲録音できない場合があります。
- エディット編集機能動作中、►►Iボタン、I◄◄ボタン、►►ボタン、◄◄ボタンは操作できません。

16 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は、本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

	現　象	原　因	処　置	関連ページ
共通	電源を入れてもディスプレイが点灯せず、音も出ない。	●電源プラグが電源コンセントから外れていませんか。	●電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。	10〜13
	リモコンを操作しても正しく動作しない。	●乾電池が消耗していませんか。 ●本体とリモコンが離れ過ぎていませんか。	●新しい乾電池と入れ替えてください。 ●本体にリモコンを近づけてください。	21 21
レシーバー部	ディスプレイは点灯するが音が出ない。	●スピーカーコードの接続が不完全ではありませんか。 ●ファンクションが違っていませんか。 ●音量調節つまみが絞ってありませんか。	●確実に接続してください。 ●正しい位置に切り替えてください。 ●適当な位置まで回してください。	10〜13 16 17
	片側だけ音が出ない。	●スピーカーコードの接続が不完全ではありませんか。 ●入力コードの接続が不完全ではありませんか。	●確実に接続してください。 ●確実に接続してください。	10〜13 10〜13
	ステレオのときに、各楽器の位置が入れ替わっている。	●スピーカーコードまたは入力コードの接続が逆になっていませんか。	●左右の接続を確かめてください。	10〜13
	FM放送に“ザー”という雑音が入る。	●アンテナケーブルが正しく接続されていますか。	●アンテナケーブルを正しく接続してください。 ●屋外アンテナを接続してください。	14、15 15
	AM放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	●テレビなどから雑音が入っていませんか。または、放送局の干渉音が聞こえませんか。	●テレビを消してください。 ●AM用ループアンテナの位置や向きを変えてください。	ー 14
	AM放送に“ブーン”という雑音（ハム）が入る。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受けていませんか。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	ー
CD部	CDを入れてもすべてゼロ表示になる。	●CDが正しく装着されていますか。	●CDを正しく入れ直してください。	25
	プレイ/ポーズボタン（▶/❚❚）を押しても再生しない。	●CDが汚れたり、傷が付いたりしていませんか。	●CDの汚れを拭き取るか、他のCDと入れ替えてください。	24
	音が出ない。または歪む。	●レシーバー部の各種調節、切り替えは適切ですか。	●レシーバー部のつまみ類、入力ファンクションを確認し、調節してください。	14、15
	CDの指定場所が正常に再生できない。	●CDが汚れたり、傷が付いたりしていませんか。	●CDの汚れを拭き取るか、他のCDと入れ替えてください。	24
	プログラム再生ができない。	●プログラム方法が違っていませんか。	●正しくプログラムしてください。	43

17 主な仕様

■ **レシーバー部**

実用最大出力	22W＋22W（EIAJ　負荷6Ω）
オーディオ入出力端子	LINE1入出力端子、LINE2入出力端子 PRE OUT端子（モノラル） 3.5mm ヘッドホン端子
受信周波数帯域	FM：76MHz～108MHz AM：522kHz～1629kHz
受信感度	FM：1.5μV/75Ω AM：20μV
FMステレオ分離度	35dB（1kHz）

■ **CD部**

ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%　W.peak）以下
標本化周波数	44.1kHz
光源	半導体レーザー

■ **時計・タイマー部**

時計方式	電源周波数同期方式（月差　±30秒以内）
タイマー	エブリディタイマー（1系統） ワンスタイマー（1系統） スリープタイマー（最大60分）

■ **共通部**

電源	AC 100V　50/60Hz
消費電力	40W（電気用品安全法による） スタンバイ時　約1W
最大外形寸法	210（幅）×95（高さ）×325（奥行き）mm （フット、つまみ、端子を含む）
質量	4.3kg

■ **リモコン（RC-933）**

リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC 3V　単4形乾電池2本使用
最大外形寸法	61（幅）×188（高さ）×26（奥行き）mm
質量	120g（乾電池を含む）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC 100V以外の電源には絶対に接続しないでください。